時間外労働 休日労働に関する協定届

労 働 保 険 番 号	26 都道府県	1 03	012919	000	被一括事業場番号
法人番号			41300010332	:71	

様式第9号の2(第16条第1項関係)

		事業の種類	事業の名称		事業の)所在地(電話番	持)	協定の有効期間				
		派遣業 株式会社ワールドブラン	彦根営業所		(〒 522 - 遂賀県彦根市旭町					[]	事業場外]	
					滋食米珍飯中地町	0-22-	+C1V3F		令和] 7年3月11	日 ~ 令和 8	年 3 月 10 日
						ҽ	¥ 0749	(22) 7	,502 [年月月	8 ~	年 月 日]
									延長すること	ができる時間数	汝	
											1年(のについて	は360時間まで、
		時間外労働をさせる	業務の種類	労働者数	所 定 労 働		1	目	1箇月(のについ	ては45時間まで、	図については	320時間まで)
		必要のある具体的事由	[事業場外]	(湖18歳)以上の者)	(1日					(42時間まで)	延 第 日 令和	7 年 3 月 11日
				1以上の相・		,			1	所定労働時間を		•
							超える時間数	超える時間数 (任意)	超える時間数	超える時間数 (任意)	超える時間数	超える時間数 (任意)
								1 12 /21 /				
		i	************************************									
					8 時間	0 分	8 時間	時間	45 時間	時間	360 時間	時間
		 受注の集中・労務管理・従業員送迎		20 人	r ++.88		分	分	分	分	分	分
			İi		[時間	分]	77	23	77	77	7	77
					8 時間	0 分	8 時間	時間	45 時間	時間	360 時間	時間
		 給与計算・決算処理・請求書作成	Γ	4 人								
					[時間 	分]	分	分	分	分	分	分
	ወ ጉ記ወに											
	該当しない労											
	働者											
					時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間
時間外労働			Γ <u>΄</u>	人								
外					[時間	分]	分	分	分	分	分	分
労												
働												
					時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間
			Γ	人								
					[時間 	分]	分	分	分	分	分	分
					時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間
			Γ	人								
					[時間	分]	分	分	分	分	分	分
					時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間
			Г	人								
					[時間	分]	分	分	分	分	分	分
	② 1年単位											
	の変形労働時 間制により労											
	働する労働者											
					時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間
			Г	人								
					[時間	分]	分	分	分	分	分	分
					時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間
			[人								
					[時間	分]	分	分	分	分	分	分
				AVE. 488							MA MET -12 - 2	
	17	木日労働をさせる必要のある具体的事由	業務の種類	労働者数			定休日		労働させる。	ことができる	労働させる。 法党保申に	ことができる おける始業
	171	тру III 2 С С С 2 2 2 3 3 4 4 7 4 7 4 II	[事業場外]	以上の者)			(任意)		法 定 休 	日の日数	及び終ま	業の時刻
										1 -	0 ft	04 ft.
			営業・送迎						1	か月	0 時	24 時 -
											0 分	0 分
	受注の集中・労	が務管理・従業員送迎	Г	20 人	 土・日・祝(企業	もカレンダー)					
休日										4 団		
労	:		L									
働			本 教						1:	か月	0 時	24 時
1350			事務								0 分 [^]	0 分
	給与計算・連算	「処理・請求書作成	L!	4人	土・日・祝(企業	#九しつが一)					
	107047次异	rat moretrm			· vi. (iE#	スプレンダー	,					
										4 団 🥒	受	付
			L J							- TEI	又	U U

様式第9县の2(第16条第1項関係)

					. 日 £意)	(時間外労働及び	1 箇「休日労働を合算した		未満に限る。)	720	1 年 外労働のみの時間 時間以内に限る	.)
		400. MER		V 1-					1	起算日 (年月日)	令和 7 年	3 月 11 日
臨時的に限度時間を超えて 労働させることができる場合	業務の種類 [事業場外]	労働者数 (以上の者)	法定労働	動時間を	ができる時間数 所定労働時間を 超える時間数 (任意)	(ガ働させるこ しがあきな同数	法定労働時間を超 える時間数と休日 労働の時間数を合	働 の 時 間 数 所定労働時間を超 える時間数と休日	えた労働に係	法定労働時間を 超える時間数	超える時間数	限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率
→時的な受注の集中、突発的なトラブル対応	営業・送迎	20 人		時間分	時間分	6 d	95 時間	時間	25 % 60時間超50%	720 時間 0 分	時間	25 %
決算処理など一時的な業務の集中	事務	4 人	8	時間分	時間	6 	95 時間	時間 分	25 % 60時間超50%	720 時間 0 分	時間	25 %
		χ.		時間分	時間	囯	時間 分	時間 分	%	時間 分	時間 分	%
		人		時間分	時間 分	Ħ	時間分	時間分	%	時間 分	時間	%
		.		時間分	時間 分	囯	時間分	時間分	%	時間分	時間分	%
		.		時間分	時間	囯	時間分	時間分	%	時間	時間分	%
		人 人		時間分	時間 分	囯	時間	時間分	%	時間分	時間分	%
		人		時間分	時間分	Ħ	時間分	時間分	%	時間分	時間分	%
限度時間を超えて労働させる場合における手続 限度時間を超えて労働させる労働者に対する 健康及び福祉を確保するための措置	通告 (該 当す る番 号) 【 ② 労働時間が一定時間を超えた ② 労働基準法第37条第 4項に対 ② 終業から始業までに一定時間 ③ 終業から始業までに一定時間 ③ 終業から始業までに一定時間 ③ 労働者の勤務状況及びその値 ⑤ 労働者の勤務状況及びその値 ⑥ 年次有給休暇についてまとが ③ 少事者の勤務状況及びその値 ③ 労働者の勤務状況及びその値 ② 必要に応じて、産業医等に ③ の その他	規定する時刻の 間以上の継続し 建康状態に応じ 建康状態に応じ まつた日数連続 いての相談窓口 建康状態に配慮	による面が 間には には には には にない にない にない にない でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで でで	で男を対象するはの動権又をこと合いる場	せる回数を1箇月に すること。 特別な休暇を付与す 施すること。 を含めてその取得を は適切な部署に配置	ること。 促進すること。 転換をすること。				(具体的内容) 対象労働者に対して 施。) 医師による面接指導、	保健指導を実
上記で定める時間数にかかわらず、E協定の成立年月日 令和 7 年 2 月 協定の当事者である労働組合(事業場の労	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			i につv	、て100時間未満	でなければなら	ず、かつ2箇月	から6箇月まで	を平均して81		いこと。 [ックボックスに	✓ 要ヂェック)
	又は労働者の過半数を代表する	職名 3者の 氏名	営業 永野 潤									

〇上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 🗸

○上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の

信任投票による選出

方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。

令和 7 年 2 月 12 日

協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法

職名 代表取締役 使用者 氏名 松岡 敬太

彦根 労働基準監督署長殿

時間外労働 休日労働 に関する協定届

1 03 012919 000 労働保険番号 都道府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号 被一括事業場番号 4130001033271 法人番号

様式第9号の2(第16条第1項関係)

	事業の種類			事業の名称				所在地 (電話	番号)		協定の有	可効期間
	請負・一般労働者派	造	株式会社ワ	アールドプラン 彦根営	美所	(〒522 — 滋賀県彦根市)	0073) 旭町6一22田中日	ビル3F	(電話番号:07	(49-22-7502)	2025年3月11日	日から1年間
		***************************************							延長することな	びできる時間数		
		時間外労 値 必要のある	·	業務の種類	労働者数 (満18歳) 以上の者)	所定労働時間 (1日) (任意)	1 1		1 箇月 (①については 45 時間まで) ②については 42 時間まで)		起算日 2025 年 3 月 11 日	
							法定労働時間を所定労働時間を 超える時間数 (任意)		法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間 超える時間 (任意)
		受注の集中・労務	管理・従業員送迎	営業・送迎	20名	8 時間	8 時間		45 時間		360 時間	
ŕ	① 下記②に該当しない労働者	給与計算・決算処	L理·請求書作成	事務	4名	8 時間	8 時間	alolosika Disabbilkakotalan Dewo	45 時間		360 時間	
間外労働		Mitaliako 10 kil Mohika korononia unuana unuakun ilian m		noolalatakkeen (on apkanta laistala vasanata laistan assiskil tellisen akkeistal vä	anaaa aaaamaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa	attodist Ossabili dedisti dellesse sessistentes	 	Sal-Al (1881) (17) (1864) (18) (18) (18) (18) (18) (18) (18) (18	эвенналаст политейние суус	Pilliannyanian karbatsan tanan tili initain ikkitain ketain.	e al l'anna de l'anna de l'anna anna a	
							 		··································			
	. ,		seriosseriosserios de la constante de la const				 				ts (locus tenskinis klarinins i residi (iki teleksi (iki tenbir) i 1810)	omenanemente
	② 1年単位の変形労働時間制					weens with the thicken and the same	 		anna a lifeann a seilean a leifean a lei	overala) laksaitt iki Slahtteleksi (ili) iki sito (isto) (ili) iki	, Calotomalibiliolibiliametronentammetrone	ичтопационовнешовновнова
	により労働する労働者 -			nnessannessantaseantaseataseteataseteataseteataseteataseteataseteat	mbmld1 - da10188101391014-018101-180	1016514701014814748247577747147101814716		ann urbahli (180an) Herbaher (180a) (180a)	arian arang ar	sandosadaoहात्त्वकामान्यकाकहरून		annowed a life construction to the latest the latest to th
	休日労働をさせ	る必要のある具体的	事由	業務の種類	労働者数 (満 18 歳 以上の者)		所定休日 (任意)		労働させる3 法 定 休	ことができる 日 の 日 数	労働させること 休日における始業及	
ĺ	受注の集中・	労務管理・従業員送	迎	営業・送迎	20 名	土・日	祝(企業カレン)	ダー)	1ヶ月	に4回	0:00~	24:00
ľ	給与計算・沒	・ 算処理・ 請求書作 _月	₹.	事務	4名	土•目	・日・祝(企業カレンダー)		1ヶ月に4回		0:00~24:00	

上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数は、1箇月について100時間未満でなければならず、かつ2箇月から6箇月までを平均して80時間を超過しないこと。

(チェックボックスに要チェック)

2 月 13 日

様式第9号の2(第16条第1項関係)(裏面) (記載心得)

- 1 「業務の種類」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせる必要のある業務を具体的に記入し、労働基準法第36条第6項第1号の健康上特に有害な業務について協定をした場合には、当該業務を他の業務と区別して記入すること。なお、業務の種類を記入するに当たっては、業務の区分を細分化することにより当該業務の範囲を明確にしなければならないことに留意すること。
- 2 「労働者数(満 18 歳以上の者)」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせることができる労働者の数を記入すること。
- 3 「延長することができる時間数」の欄の記入に当たっては、次のとおりとすること。時間数は労働 基準法第32条から第32条の5まで又は第40条の規定により労働させることができる最長の労働時間(以下「法定労働時間」という。)を超える時間数を記入すること。なお、本欄に記入する時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数が1箇月について100時間以上となった場合、及び2箇月から6箇月までを平均して80時間を超えた場合には労働基準法違反(同法第119条の規定により6箇月以下の懲役又は30万円以下の罰金)となることに留意すること。
- (1)「1日」の欄には、法定労働時間を超えて延長することができる時間数であって、1日についての延長することができる限度となる時間数を記入すること。なお、所定労働時間を超える時間数についても協定する場合においては、所定労働時間を超える時間数を併せて記入することができる。
- (2) 「1箇月」の欄には、法定労働時間を超えて延長することができる時間数であって、「1年」の 欄に記入する「起算日」において定める日から1箇月ごとについての延長することができる限度 となる時間数を45時間(対象期間が3箇月を超える1年単位の変形労働時間制により労働する者に

ついては、42 時間)の範囲内で記入すること。なお、所定労働時間を超える時間数についても協 定する場合においては、所定労働時間を超える時間数を併せて記入することができる。

(3)「1年」の欄には、法定労働時間を超えて延長することができる時間数であって、「起算日」に おいて定める日から1年についての延長することができる限度となる時間数を360時間(対象期間が3筒月を超える1年単位の変形労働時間制により労働する者については、320時間)の範囲内で

記入すること。なお、所定労働時間を超える時間数についても協定する場合においては、所定労働時間を超える時間数を併せて記入することができる。

- 4 ②の欄は、労働基準法第32条の4の規定による労働時間により労働する労働者(対象期間が3箇月を超える1年単位の変形労働時間制により労働する者に限る。)について記入すること。なお、延長することができる時間の上限は①の欄の労働者よりも短い(1箇月42時間、1年320時間)ことに留意すること。
- 5 「労働させることができる法定休日の日数」の欄には、労働基準法第 35 条の規定による休日 (1週1休 又は4週4休であることに留意すること。) に労働させることができる日数を記入すること。
- 6 「労働させることができる法定休日における始業及び終業の時刻」の欄には、労働基準法第35条の規定 による休日であって労働させることができる日の始業及び終業の時刻を記入すること。
- 7 労働基準法第36条第6項第2号及び第3号の要件を遵守する趣旨のチェックボックスについて、「2箇月から6箇月まで」とは、起算日をまたぐケースも含め、連続した2箇月から6箇月までの期間を指すことに留意すること。また、チェックボックスにチェックがない場合には有効な協定とはならないことに留意すること。
- 8 協定については、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合はその労働組合と、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合は労働者の過半数を代表する者と協定すること。なお、労働者の過半数を代表する者は、労働基準法施行規則第6条の2第1項の規定により、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であって、使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。これらの要件を満たさない場合には、有効な協定とはならないことに留意すること。
- 9 本様式をもつて協定とする場合においても、協定の当事者たる労使双方の合意があることが、協定上明らかとなるような方法により締結するよう留意すること。
- 10 本様式で記入部分が足りない場合は同一様式を使用すること。この場合、必要のある事項のみ記入することで差し支えない。

(備考)

労働基準法施行規則第24条の2第4項の規定により、労働基準法第38条の2第2項の協定(事業場外で従事する業務の遂行に通常必要とされる時間を協定する場合の当該協定)の内容を本様式に付記して届け出る場合においては、事業場外労働の対象業務については他の業務とは区別し、事業場外労働の対象業務である旨を括弧書きした上で、「所定労働時間」の欄には当該業務の遂行に通常必要とされる時間を括弧書きすること。また、「協定の有効期間」の欄には事業場外労働に関する協定の有効期間を括弧書きすること。

 受付

 令和 7年 2月 13日

 ^{彦根労働基準監督署}

様式第9号の2 (第16条第1項関係)

				1日 (任意)		1 億 及び休日労働を合算し	う う う う う う し の の 時間表。 100 時間末	満に限る。)	1年 (時間外労働のみの時間数。 720時間以内に限る。) 起算日 2005 年 0月 14)
		11 25 12 V. NO	8.00						起 异 口 (年月日)	2025 年 3 月	月11日
臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合	業務の種類	労働者数 (満18歳 以上の者)	延長すること	ができる時間数		及び休日労	ができる時間数 計働の時間数		延長することが	ぶできる時間数	
		(以上の名)	法定労働時間を超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	限度時間を超えて労働させることができる回数 (6回以内に限る。)	注完労働時間を制	図所定労働時間を超 える時間数と休日 労働の時間数を合 算した時間数 (任意)	限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率	法定労働時間を 超える時間数		限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率
一時的な受注の集中、突発的なトラブルや送迎対応	営業・送迎	20 名	8 時間		6 回	95 時間	 - -	25% (60 時間超 50%)	720 時間	1	25%
決算処理など一時的な業務の集中	事務	4名	8 時間		6 回	95 時間		25% (60 時間超 50%)	720 時間		25%
			1				 			1 1 1 1	
										1	
			1				1			 	
			1				1			1 1 1 1	
限度時間を超えて労働させる場合における手続	労働者代表への通知	I									
限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び 福祉を確保するための措置	(該当する番号) ① 9	(具体的内容 対象労働者)		に る面接指導、保	険指導を実施。	3					
上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働	及び休日労働を合第	近した時間数	は、1箇月につい	ヽて 100 時間未満	でなければな	らず、かつ2箇	月から6箇月まっ	でを平均して		しないこと。	U

協定の成立年月日

2025年 2月 12日

職名

協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法(

信任投票による選出

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による 手続により選出された者であって使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。

(チェックボックスに要チェック)

2025年 2月 12日

株式会社ワールドプラン代表取

使用者

彦根 労働基準監督署長殿

様式第9号の2 (第16条第1項関係) (裏面)

(記載心得)

- 1 労働基準法第36条第1項の協定において同条第5項に規定する事項に関する定めを締結した場合に おける本様式の記入に当たっては、次のとおりとすること。
 - (1) 「臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合」の欄には、当該事業場における通常 予見することのできない業務量の大幅な増加等に伴い臨時的に限度時間を超えて労働させる必要が ある場合をできる限り具体的に記入すること。なお、業務の都合上必要な場合、業務上やむを得ない 場合等恒常的な長時間労働を招くおそれがあるものを記入することは認められないことに留意する こと。
 - (2)「業務の種類」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせる必要のある業務を具体的に記入し、労働基準法第36条第6項第1号の健康上特に有害な業務について協定をした場合には、当該業務を他の業務と区別して記入すること。なお、業務の種類を記入するに当たっては、業務の区分を細分化することにより当該業務の範囲を明確にしなければならないことに留意すること。
 - (3) 「労働者数(満18歳以上の者)」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせることができる労働者の数を記入すること。
 - (4) 「起算日」の欄には、本様式における「時間外労働・休日労働に関する協定届」の起算日と同じ 年月日を記入すること。
 - (5)「延長することができる時間数及び休日労働の時間数」の欄には、労働基準法第32条から第32条の5まで又は第40条の規定により労働させることができる最長の労働時間(以下「法定労働時間」という。)を超える時間数と休日労働の時間数を合算した時間数であって、「起算日」において定める日から1箇月ごとについての延長することができる限度となる時間数を100時間未満の範囲内で記入すること。なお、所定労働時間を超える時間数についても協定する場合においては、所定労働時間を超える時間数と併せて記入することができる。

「延長することができる時間数」の欄には、法定労働時間を超えて延長することができる時間数を記入すること。「1年」にあっては、「起算日」において定める日から1年についての延長することができる限度となる時間数を720時間の範囲内で記入すること。なお、所定労働時間を超える時間数についても協定する場合においては、所定労働時間を超える時間数を併せて記入することができる。

なお、これらの欄に記入する時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数が1 箇月について100時間以上となった場合、及び2箇月から6箇月までを平均して80時間を超えた場合には労働基準法違反(同法第119条の規定により6箇月以下の懲役又は30万円以下の罰金)となることに留意すること。

(6) 「限度時間を超えて労働させることができる回数」の欄には、限度時間(1箇月45時間(対象期間が3箇月を超える1年単位の変形労働時間制により労働する者については、42時間))を超えて

労働させることができる回数を6回の範囲内で記入すること。

- (7) 「限度時間を超えた労働に係る割増賃金率」の欄には、限度時間を超える時間外労働に係る割増賃金の率を記入すること。なお、当該割増賃金の率は、法定割増賃金率を超える率とするよう努めること。
- (8) 「限度時間を超えて労働させる場合における手続」の欄には、協定の締結当事者間の手続として、「協議」、「通告」等具体的な内容を記入すること。
- (9)「限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び福祉を確保するための措置」の欄には、以下の番号を「(該当する番号)」に選択して記入した上で、その具体的内容を「(具体的内容)」に記入すること。
- ① 労働時間が一定時間を超えた労働者に医師による面接指導を実施すること。
- ② 労働基準法第37条第4項に規定する時刻の間において労働させる回数を1箇月について一定回数以内とすること。
- ③ 終業から始業までに一定時間以上の継続した休息時間を確保すること。

- ④ 労働者の勤務状況及びその健康状態に応じて、代償休日又は特別な休暇を付与すること。
- (5) 労働者の勤務状況及びその健康状態に応じて、健康診断を実施すること。
- (6) 年次有給休暇についてまとまった日数連続して取得することを含めてその取得を促進すること。
- ⑦ 心とからだの健康問題についての相談窓口を設置すること。
- (8) 労働者の勤務状況及びその健康状態に配慮し、必要な場合には適切な部署に配置転換をすること。
- ⑨ 必要に応じて、産業医等による助言・指導を受け、又は労働者に産業医等による保健指導を受けさせること。

⑩ その他

- 2 労働基準法第36条第6項第2号及び第3号の要件を遵守する趣旨のチェックボックスについて、「2箇月から6箇月まで」とは、起算日をまたぐケースも含め、連続した2箇月から6箇月までの期間を指すことに留意すること。また、チェックボックスにチェックがない場合には有効な協定とはならないことに留意すること。
- 3 協定については、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合はその労働組合と、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合は労働者の過半数を代表する者と協定すること。なお、労働者の過半数を代表する者は、労働基準法施行規則第6条の2第1項の規定により、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であって、使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。これらの要件を満たさない場合には、有効な協定とはならないことに留意すること。また、これらの要件を満たしていても、当該要件に係るチェックボックスにチェックがない場合には、届出の形式上の要件に適合していないことに留意すること。
- 4 本様式をもつて協定とする場合においても、協定の当事者たる労使双方の合意があることが、協定上明らかとなるような方法により締結するよう留意すること。
- 5 本様式で記入部分が足りない場合は同一様式を使用すること。この場合、必要のある事項のみ記入する ことで差し支えない。

(備考)

- 1 労働基準法第38条の4第5項の規定により、労使委員会が設置されている事業場において、本様式を労使委員会の決議として届け出る場合においては、委員の5分の4以上の多数による議決により行われたものである旨、委員会の委員数、委員の氏名を記入した用紙を別途提出することとし、本様式中「協定」とあるのは「労使委員会の決議」と、「協定の当事者である労働組合」とあるのは「委員会の委員の半数について任期を定めて指名した労働組合」と、「協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法」とあるのは「委員会の委員の半数について任期を定めて指名した者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法」と読み替えるものとする。なお、委員の氏名を記入するに当たっては、任期を定めて指名された委員とその他の委員とで区別することとし、任期を定めて指名された委員の氏名を記入するに当たっては、同条第2項第1号の規定により、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合においてはその労働組合、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合においては労働者の過半数を代表する者に任期を定めて指名された委員の氏名を記入することに留意すること。
- 2 労働時間等の設定の改善に関する特別措置法第7条の規定により、労働時間等設定改善委員会が設置されている事業場において、本様式を労働時間等設定改善委員会の決議して届け出る場合においます。 費の5分の4以上の多数による議決により行われたよっである旨、委員会の委員数、委員の氏名を記入した用紙を別途提出することとし、本様式中「協定」したるのは「労働時間が設定改革委員会の改善して協定の当事者である労働組合」とあるのは「安員会の委員の半数の推薦者である労働組合」と、「協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法とあるのは「委員会の委員の半数の推薦者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法というまとまた。

名された委員の氏名を記入するに当たっては、同条第1ラー坦定により、労働者の過半数で組織す

するに当たっては、推薦に基づき指名された委員との他の委託を根拠が使ん基準

組合がある場合においてはその労働組合、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合においては労働者の過半数を代表する者の推薦に基づき指名された委員の氏名を記入することに留意すること。

受付令和 7年 2月 13日彦根労働基準監督署

労働保険番号	25都道府県	1 所掌	02	006653 基幹番号	000 枝番号	被一括事業場番号
法人番号				41300010332	7 1	

様式第9号の2(第16条第1項関係)

		事業の種類	事業の名称		事業の所在地(電話番号) (〒 522 - 0073)					協定の有効期間				
ļ		派造業 株式会社	せワールドブラン スタッフ事業部		(〒 522 - 滋賀県彦根市旭町						事業場外] 			
									令 章		日 ~ 令和 8	ii ii		
_				<u> </u>		电	話 0749		7502 L		B ~	年 月 日]		
									<u> 延長すること</u> ┃	ができる時間		は360時間まで、		
		 時間外労働をさせる	業務の種類	労働者数	所定労働		1	目	1箇月(のについ	いては45時間まで、	②については	320時間まで)		
		必要のある具体的事由	[事業場外]	(満18歳)以上の者)	(1日					は42時間まで)	(年月日) 令和	7 年 3 月 11日		
										所定労働時間を 超 える時間 数				
								(任意)		(任意)		(任意)		
		その他(事由不明を含む。)	分類不能の職業 物の製造・運搬・倉庫作業、清掃等の軽作業・事務											
					8 時間	0 分	8 時間	時間	45 時間	時間	360 時間	時間		
		派遣先企業様における納期厳守・その他突発業務		360 人	 [時間	分]	1 分	分	分	分	分	分		
					[h41]	74 1	' "	, ,,		,		,		
					 時間	分	 時間	時間	時間	時間	時間	時間		
			[7]	人										
					時間	分]] 分	分	分	分	分	分		
	の 下記のに													
	該当しない労 働者						•							
					rt土月日		rt土88	r土88	rt土日日	 	rt土88	(土目目		
時			 	人	時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間		
間 外					[時間	分]) 分	分	分	分	分	分		
時間外労働														
脚														
					#± 88	,	*+===	#+==	#+==	#+==	#+==	#+==		
			 	,	時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間		
					[時間	分]) 分	分	分	分	分	分		
					=			=	=		=			
				٨ .	時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間		
					[時間	分]) 分	分	分	分	分	分		
		İ												
				λ .	時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間		
					[時間	分]) 分	分	分	分	分	分		
	② 1年単位													
	の変形労働時間制により労													
	働する労働者													
				1	時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間		
				_ ^	[時間	分]) 分	分	分	分	分	分		
				1	時間	分	時間	時間	時間	時間	時間	時間		
				_ ^	[時間	分]) 分	分	分	分	分	分		
				## ## ±4 ##							労働させる	⊥ ことができる		
	犲	末日労働をさせる必要のある具体的事B	業務の種類 fi [事業場外]	労働者数			f 定 休 日 (任意)		労働させる	ことができる 日 の 日 数	法定休日に	おける始業		
			[*	「以上の者」			(112/2)		TA TE IT	⊔ ∨ ⊔ #х	及び終	業 の 時 刻		
		その他(事由不明を含む。)	分類不能の職業						1	か月	0 時	24 時		
			物の製造・運搬・倉庫作業・清掃等の軽作業・事務								0 分	0 分		
	派遣先企業様に	おける納期厳守・その他突発業務	 	360 人										
休	•													
休日										4 団				
労											時	時		
働											分	- 分		
			 	\ \										
										団	受	付		
			•	-	_				_	_				

				日 £意)	 (時間外労働及び	1 箇 休日労働を合算し <i>†</i>		未満に限る。)	720	1年 外労働のみの時間 時間以内に限る T	.)
									起算日 (年月日)	令和 7 年	3 月 11 日
臨時的に限度時間を超えて 労働させることができる場合	業務の種類 [事業場外]	労働者数 満18歳 以上の者	法定労働時間を	ができる時間数 所定労働時間を 超える時間数 (任意)	て労働させるこ	及び保日労 法定労働時間を超 える時間数と保日 労働の時間数を合	える時間数と休日	えた労働に係	法定労働時間を 超える時間数	ができる時間数 所定労働時間を 超える時間数 (任意)	限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率
							(144.764.7	25 %			25 %
一時的な受注の集中、突発的なトラブル対応	物の製造・運搬・倉庫作業、清掃等の軽作業・事務	360 人	8 時間	時間 分	6 	95 時間	時間 分	60時間超50%	720 時間 0 分	時間	
								%			%
			時間 分	時間 分	田	時間 分	時間 分		時間 分	時間 分	
		<u>۲</u>	時間分	時間分	Ħ	時間分	時間分	%	時間 分	時間分	%
		人	時間	時間分	Ħ	時間	時間分	%	時間	時間分	%
		人	時間分	時間分	Ħ	時間	時間分	%	時間	時間分	%
		人 人	時間	時間分	Ħ	時間 分	詩間	%	時間 分	時間分	%
		人 人	時間分	時間分	田	時間分	時間分	%	時間 分	時間分	%
		人	時間分	時間分	田	時間分	時間分	%	時間分	時間分	%
限度時間を超えて労働させる労働者に対する 限度時間を超えて労働させる労働者に対する 健康及び福祉を確保するための措置	(該 当 す る 番 号) 【② 労働時間が一定時間を超えた ② 労働基準法第37条第 4項に共 ③ 終業から始業までに一定時間 ③ 終業から始業までに一定時間 ③ 労働者の勤務状況及びその例 ⑤ 労働者の勤務状況及びその例 ⑤ 年次有給休暇についてまとる ② 心とからだの健康問題につい ③ 労働者の勤務状況及びその例 ③ 労働者の勤務状況及びその例 ③ 労働者の勤務状況及びその例 ③ 労働者の勤務状況及びその例 ③ 労働者の勤務状況及びその例 ③ 労働者の勤務状況及びその例 ③ 労働者の勤務状況及びその例 ③ 労働者の勤務状況及びその例 ③ 労働者の勤務状況及びその例 ③ 労働者の勤務状況及びその例 ④ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	規定する時刻の 間以上の継続にと 健康状態に対験に はながないないないないないないでは 健康のの状態に 健康のの状態に はる助言・指導	による面接指導を 間において労働さ た休息時間を確保 て、健康は日本を して取得すること。 し、必要な場合に を受け、又は労働	せる回数を 1 箇月に すること。 特別な休暇を付与す 施すること。 を含めてその取得を は適切な部署に配置 者に産業医等による	ること。 促進すること。 転換をすること。 保健指導を受けさ 1	せること。		* 71 64 1 ~ 0 0	施。	医師による面接指導、	
上記で定める時間数にかかわらず、時 協定の成立年月日 令和 7 年 2 月 1 協定の当事者である労働組合(事業場の労働	3 日			て100時間未満	でなければなら	す、かつ2箇月	から6箇月まで	を平均して8(kいこと。 ックボックスに ³	✓ 要ヂェック)
τ.	734份働老の過光粉を代表する	、 職名	営業								

又は労働者の過半数を代表する者の 氏名 永野 潤

信任投票による選出 協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法

〇上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 🗸 ○上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の

方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。

令和 6 年 2 月 13 日

職名 代表取締役 使用者 氏名 松岡 敬太

時間外労働 に関する協定届 休日労働

労働保険番号	25 1 02 006653000 【衛道府県】[所幹] 【管轄】 【 基幹費号 】 【 校番号 】 「被一栖事業場督号」
法人番号	4130001033271

様式第9号の2 (第16条第1項関係)

事業の種類						事業の	の所在地(電話	番号)		協定の有効期間		
	労働者派遣事業	}	株式会社ワー	ールドプラン スタッフ事業	常	(〒522 滋賀県彦根市加	— 0073 旦町 6-22 田中ビ/ (電話) ル3F 番号 : 0749	- 22 -	- 7502)	2025年3月11	日から1年間
			•						延長すること	ができる時間数	<u> </u>	
		時間外労働 必要のある		業務の種類	労働者数 (満 18 歳 以上の者)	/ (+r sto)			②については 42 F	時間まで)	1 (年月日) ;	時間まで) 年 3 月 11 日
							法定労働時間を超える時間数	ガルガ側や間を 超える時間数 (任意)	法定労働時間を 超える時間数	別定方側時間を 超える時間数 (任意)	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)
		派遣先企業様におけ	る納期厳守・その他	物の製造・運搬・倉庫作業	360 人		8時間		45 時間	! ! !	360 時間	! !
時間外労働	① 下記②に該当しない労働者				A character of the control of the co				400011N001010010100101000111000			
	② 1年単位の変形労働時間制 により労働する労働者											
休日	休日労働をさせ	せる必要のある具体的	7事由	業務の種類	労働者数 (満18歳) 以上の者		所定休日 (任意)			: : ことができる 日 の 日 数	労働させるこ 休日における始業	とができる法定 及び終業の時刻
出労働	派遣先企業様におけ	る納期厳守・その他	突発業務。	物の製造・運搬・倉庫業務 清掃等の軽作業・事務	360		waraandarkaaldtrisi@iatsi@i010000	at the first of th	1 かり	に4回	0:00	~24:00

上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数は、1 箇月について 100 時間未満でなければならず、かつ2 箇月から6 箇月までを平均して 80 時間を超過しないこと。 🗹 (チェックボックスに要チェック)

受付

令 和 7 年 2 月 13 日

き根労働基準監督署

様式第9号の2 (第16条第1項関係) (裏面) (記載小得)

- 1 「業務の種類」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせる必要のある業務を具体的に記入し、労働基準法第36条第6項第1号の健康上特に有害な業務について協定をした場合には、当該業務を他の業務と区別して記入すること。なお、業務の種類を記入するに当たっては、業務の区分を細分化することにより当該業務の範囲を明確にしなければならないことに留意すること。
- 2 「労働者数 (満 18 歳以上の者)」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせることができる労働者 の数を記入すること。
- 3 「延長することができる時間数」の欄の記入に当たっては、次のとおりとすること。時間数は労働 基準法第32条から第32条の5まで又は第40条の規定により労働させることができる最長の労働時間(以下「法定労働時間」という。)を超える時間数を記入すること。なお、本欄に記入する時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数が1箇月について100時間以上となった場合、及び2箇月から6箇月までを平均して80時間を超えた場合には労働基準法違反(同法第119条の規定により6箇月以下の懲役又は30万円以下の罰金)となることに留意すること。
- (1) 「1日」の欄には、法定労働時間を超えて延長することができる時間数であって、1日についての延長することができる限度となる時間数を記入すること。なお、所定労働時間を超える時間数についても協定する場合においては、所定労働時間を超える時間数を併せて記入することができる。
- (2) 「1箇月」の欄には、法定労働時間を超えて延長することができる時間数であって、「1年」の欄に記入する「起算日」において定める日から1箇月ごとについての延長することができる限度となる時間数を45時間(対象期間が3箇月を超える1年単位の変形労働時間制により労働する者に

ついては、42 時間)の範囲内で記入すること。なお、所定労働時間を超える時間数についても協定する場合においては、所定労働時間を超える時間数を併せて記入することができる。

(3) 「1年」の欄には、法定労働時間を超えて延長することができる時間数であって、「起算日」に おいて定める日から1年についての延長することができる限度となる時間数を 360 時間(対象期間が3箇月を超える1年単位の変形労働時間制により労働する者については、320 時間)の範囲内で

記入すること。なお、所定労働時間を超える時間数についても協定する場合においては、所定労働時間を超える時間数を併せて記入することができる。

- 4 ②の欄は、労働基準法第32条の4の規定による労働時間により労働する労働者(対象期間が3箇月を超える1年単位の変形労働時間制により労働する者に限る。)について記入すること。なお、延長することができる時間の上限は①の欄の労働者よりも短い(1箇月42時間、1年320時間)ことに留意すること。
- 5 「労働させることができる法定休日の日教」の欄には、労働基準法第35条の規定による休日(1週1休 又は4週4休であることに留意すること。)に労働させることができる日数を記入すること。
- 6 「労働させることができる法定休日における始業及び終業の時刻」の欄には、労働基準法第35条の規定 による休日であって労働させることができる日の始業及び終業の時刻を記入すること。
- 7 労働基準法第36条第6項第2号及び第3号の要件を遵守する趣旨のチェックボックスについて、「2箇月から6箇月まで」とは、起算日をまたぐケースも含め、連続した2箇月から6箇月までの期間を指すことに留意すること。また、チェックボックスにチェックがない場合には有効な協定とはならないことに留意すること。
- 8 協定については、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合はその労働組合と、労働者の過半数で 組織する労働組合がない場合は労働者の過半数を代表する者と協定すること。なお、労働者の過半数を代 表する者は、労働基準法施行規則第6条の2第1項の規定により、労働基準法第41条第2号に規定する 監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにし て実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であって、使用者の意向に基づき選出さ れたものでないこと。これらの要件を満たさない場合には、有効な協定とはならないことに留意すること。
- 9 本様式をもつて協定とする場合においても、協定の当事者たる労使双方の合意があることが、協定上明らかとなるような方法により締結するよう留意すること。
- 10 本様式で記入部分が足りない場合は同一様式を使用すること。この場合、必要のある事項のみ記入することで差し支えない。

(備考)

労働基準法施行規則第24条の2第4項の規定により、労働基準法第38条の2第2項の協定(事業場外で従事する業務の遂行に通常必要とされる時間を協定する場合の当該協定)の内容を本様式に付記して届け出る場合においては、事業場外労働の対象業務については他の業務とは区別し、事業場外労働の対象業務である旨を括弧書きした上で、「所定労働時間」の欄には当該業務の遂行に通常必要とされる時間を括弧書きすること。また、「協定の有効期間」の欄には事業場外労働に関する協定の有効期間を括弧書きすること。

 受付

 令和 7年 2月13日

 ^{彦根労働其進監督署}

様式第9号の2 (第16条第1項関係)

彦根

労働基準監督署長殿

			E	日 三意)	/11年8月5年公益市7	1 箇	A TOTAL CONTRACTOR OF THE PARTY	強に限る)	720 F	1年 ト労働のみの時間数 寺間以内に限る。	
		0.500000		[息]	(HIT[H] Z F 22 [B0] Zx	(い)杯日カ側を日昇し	元中引用致。100 m引用不	一個におる。	起算日 (年月日)	2025年3月11日	3
臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合	業務の種類	労働者数 (満18歳 以上の者)	延長すること;	ができる時間数	70 mm + 80 2 +77 °	及び休日労	ができる時間数 働 の 時 間 数		延長することが	「できる時間数	
		(以上の日)	法定労働時間を超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	とができる回数	法定労働時間を超 える時間数と休日 労働の時間数を合	える時間数と休日 労働の時間数を合	限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率	法定労働時間を 超える時間数	別足カ側時間を超える時間数	限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率
						算した時間数	算した時間数 (任意)				
一般的な受注の集中・突発的なトラブル対応	物の製造・運搬・倉 庫作業・清掃等の軽 作業・事務		8 時間		6 回	95 時間	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	25%(60時間超50%)	720 時間		25%
							1				
							I I I			 	
							! 			 	
							! !			 	
							i i			 	
限度時間を超えて労働させる場合における手続	労働者代表への通知	1	'						•		
明成中間ナヤン・ア公園とルフ公園セルナフルはエッ	(該当する番号)	(具体的内容		トップは松笠(17	加州、英文中长						
限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び 福祉を確保するための措置	1.9	対象労働者	に対して医師に。	よる面接指導・保	煙指導を実施						
上記で定める時間数にかかわらず、時間外労化	動及び休日労働を合乳	章した時間数	対は、1箇月につ	いて 100 時間未満	情でなければな	らず、かつ2箇	月から6箇月ま	でを平均して		しないこと。 ✓ クボックスに要う	
協定の成立年月日 2025 年 2月	13 日				with the same	(N					
協定の当事者である労働組合(事業場の労働者の過半数	で組織する労働組合)	の名称又に	は労働者の過半数	を代表する者の	職名 営業 氏名 永野	選 學了					
協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の		任投票による		المال معلى المال)	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	一个公田士	5 10 W W - 2 W - 4	L7 **** 7 - 1	
上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労	動者の過半数で組織。	する労働組合	♪である又は上記	協定の当事者であ	りる労働者の道	十数を代表する	有が事業場の全	(の労働者の	り適半数を代表で	する石であること	_ ₩

氏名 松岡

辛坦兴励甘淮院叔军

(記載心得)

- 1 労働基準法第36条第1項の協定において同条第5項に規定する事項に関する定めを締結した場合における本様式の記入に当たっては、次のとおりとすること。
- (1) 「臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合」の欄には、当該事業場における通常 予見することのできない業務量の大幅な増加等に伴い臨時的に限度時間を超えて労働させる必要が ある場合をできる限り具体的に記入すること。なお、業務の都合上必要な場合、業務上やむを得ない 場合等恒常的な長時間労働を招くおそれがあるものを記入することは認められないことに留意する こと。
- (2) 「業務の種類」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせる必要のある業務を具体的に記入し、 労働基準法第36条第6項第1号の健康上特に有害な業務について協定をした場合には、当該業務を 他の業務と区別して記入すること。なお、業務の種類を記入するに当たっては、業務の区分を細分化 することにより当該業務の範囲を明確にしなければならないことに留意すること。
- (3) 「労働者数(満18歳以上の者)」の欄には、時間外労働又は休日労働をさせることができる労働者の数を記入すること。
- (4) 「起算日」の欄には、本様式における「時間外労働・休日労働に関する協定届」の起算日と同じ 年月日を記入すること。
- (5) 「延長することができる時間数及び休日労働の時間数」の欄には、労働基準法第32条から第32条の5まで又は第40条の規定により労働させることができる最長の労働時間(以下「法定労働時間」という。)を超える時間数と休日労働の時間数を合算した時間数であって、「起算日」において定める日から1箇月ごとについての延長することができる限度となる時間数を100時間未満の範囲内で記入すること。なお、所定労働時間を超える時間数についても協定する場合においては、所定労働時間を超える時間数と休日労働の時間数を合算した時間数を併せて記入することができる。

「延長することができる時間数」の欄には、法定労働時間を超えて延長することができる時間数を記入すること。「1年」にあっては、「起算日」において定める日から1年についての延長することができる限度となる時間数を720時間の範囲内で記入すること。なお、所定労働時間を超える時間数についても協定する場合においては、所定労働時間を超える時間数を併せて記入することができる。

なお、これらの欄に記入する時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数が1箇月について100時間以上となった場合、及び2箇月から6箇月までを平均して80時間を超えた場合には労働基準法違反(同法第119条の規定により6箇月以下の懲役又は30万円以下の罰金)となることに留意すること。

- (6) 「限度時間を超えて労働させることができる回数」の欄には、限度時間(1箇月45時間(対象 期間が3箇月を超える1年単位の変形労働時間制により労働する者については、42時間))を超えて労働させることができる回数を6回の範囲内で記入すること。
- (7) 「限度時間を超えた労働に係る割増賃金率」の欄には、限度時間を超える時間外労働に係る割増賃金の率を記入すること。なお、当該割増賃金の率は、法定割増賃金率を超える率とするよう努めること。
- (8) 「限度時間を超えて労働させる場合における手続」の欄には、協定の締結当事者間の手続として、「協議」、「通告」等具体的な内容を記入すること。
- (9) 「限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び福祉を確保するための措置」の欄には、 以下の番号を「(該当する番号)」に選択して記入した上で、その具体的内容を「(具体的内容)」に記 入すること。
- ① 労働時間が一定時間を超えた労働者に医師による面接指導を実施すること。
- ② 労働基準法第37条第4項に規定する時刻の間において労働させる回数を1箇月について一定回数以内とすること。
- ③ 終業から始業までに一定時間以上の継続した休息時間を確保すること。
- ④ 労働者の勤務状況及びその健康状態に応じて、代償休日又は特別な休暇を付与すること。

- ⑤ 労働者の勤務状況及びその健康状態に応じて、健康診断を実施すること。
- ⑥ 年次有給休暇についてまとまった日数連続して取得することを含めてその取得を促進すること。
- (7) 心とからだの健康問題についての相談窓口を設置すること。
- ⑧ 労働者の勤務状況及びその健康状態に配慮し、必要な場合には適切な部署に配置転換をすること。
- ⑨ 必要に応じて、産業医等による助言・指導を受け、又は労働者に産業医等による保健指導を受け させること。
- ⑩ その他
- 2 労働基準法第36条第6項第2号及び第3号の要件を遵守する趣旨のチェックボックスについて、「2箇月から6箇月まで」とは、起算日をまたぐケースも含め、連続した2箇月から6箇月までの期間を指すことに留意すること。また、チェックボックスにチェックがない場合には有効な協定とはならないことに留意すること。
- 3 協定については、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合はその労働組合と、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合は労働者の過半数を代表する者と協定すること。なお、労働者の過半数を代表する者は、労働基準法施行規則第6条の2第1項の規定により、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であって、使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。これらの要件を満たさない場合には、有効な協定とはならないことに留意すること。また、これらの要件を満たしていても、当該要件に係るチェックボックスにチェックがない場合には、届出の形式上の要件に適合していないことに留意すること。
- 4 本様式をもつて協定とする場合においても、協定の当事者たる労使双方の合意があることが、協定上明らかとなるような方法により締結するよう留意すること。
- 5 本様式で記入部分が足りない場合は同一様式を使用すること。この場合、必要のある事項のみ記入することで差し支えない。

(備考)

- 1 労働基準法第38条の4第5項の規定により、労使委員会が設置されている事業場において、本様式を労使委員会の決議として届け出る場合においては、委員の5分の4以上の多数による議決により行われたものである旨、委員会の委員数、委員の氏名を記入した用紙を別途提出することとし、本様式中「協定」とあるのは「労使委員会の決議」と、「協定の当事者である労働組合」とあるのは「委員会の委員の半数について任期を定めて指名した労働組合」と、「協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法」とあるのは「委員会の委員の半数について任期を定めて指名した者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法」と読み替えるものとする。なお、委員の氏名を記入するに当たっては、任期を定めて指名された委員とその他の委員とで区別することとし、任期を定めて指名された委員の氏名を記入するに当たっては、同条第2項第1号の規定により、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合においてはその労働組合、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合においては労働者の過半数を代表する者に任期を定めて指名された委員の氏名を記入することに留意すること。
- 2 労働時間等の設定の改善に関する特別措置法第7条の規定により、労働時間等設定改善委員会が設置されている事業場において、本様式を労働時間等設定改善委員会の決議として届け出る場合においては、委員の5分の4以上の多数による議決により行われたものである旨、委員会の委員数、委員の氏名を記入した用紙を別途提出することとし、本様式中「協定」とあるのは「労働時間等設定改善委員会の決議」と、「協定の当事者である労働組合」とあるのは「委員会の委員の当該の追薦者であるのでは、上、「協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法」とあるが、「委員会の委員の半数の企業者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法」と読み替えるものとする。なお、委員の氏名を記入するに当たっては、経済に基づき指名された委員とその他の委員とで区別することとし、雅馬に基つき指名された委員の氏名を記入するに当たっては、経済第1月の規定により、「労働者の過半数で組織する労働組合がない場合においては労働者の過半数を代表する者の推薦に基づき指名された委員の氏名を記入するに当たっては、経済第1月の規定により、「労働組合がない場合においては労働者の過半数を代表する者の推薦に基づき指名された委員の氏名を記入する。

時間外労働 に関する協定届 休日労働

労働保険番号	2 5 j 0 2 0 6 6 5 3 0 0 0 回 回 回 個 都道府県 所称 管轄
法人番号	4130001033271

様式第9号の2 (第16条第1項関係)

	事業の種類			事業の名称			事業	の所在地(電話	番号)		協定の有	可効期間
	労働者派遣事業		9/4	ールドプランスタッフ事業 ボウ電子株式会社 浅井工	(〒 522 — 0073) 滋賀県彦根市旭町 6-22 田中ビル 3F (電話番号: 0749 — 22 — 7502					2024 年 12 月 21 日から 2025 年 12 月 20 日まで 1 年間		
									延長することができる時間数			
		時間外労働をさせる 必要のある具体的事由		業務の種類	労働者数 (満18歳 以上の者)	所定労働時間 (1日) (任意)			1箇月(①につい ②については42章 法定労働時間を 超える時間数	持間まで)	1年(①について ②については3201 起算日 (年月日) 2024 ^年 法定労働時間を 超える時間数	
		設備・機械・人員	・天災等	電子部品の組立・検査		7 時間 45 分		1				
時間	① 下記②に該当しない労	計画変更による製	品・部品の	梱包・ピッキング				1				
外労	働者	納期及び臨時の受	注に対応する為		447 SE (PO 16 XODE E CESSOS 4470)			! !				
動		*						! ! ! !				
		同	Ŀ	同上	26 人	7 時間 45 分	5 時間	1	42 時間		320 時間	
	② 1年単位の変形労働時間制 により労働する労働者							 				
休日	休日労働をさせ	休日労働をさせる必要のある具体的事由		業務の種類	労働者数 (満 18 歳 以上の者)		所定休日 (任意)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	労働させる。 法 定 休	ことができる日 の 日 数	労働させること 休日における始業及	1,000
労働	設備・機	設備・機械・人員・天災等		同上	26 人	派遣先カレンダーに準ずる		準ずる	1 か月	に3回	8:15~	-17:00
190	計画変更による製品・部品	計画変更による製品・部品の納期及び臨時の受注に対応する為								·		

上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数は、1箇月について 100 時間未満でなければならず、かつ 2 箇月から 6 箇月までを平均して 80 時間を超過しないこと。 (チェックボックスに要チェック)



様式第9号の2 (第16条第1項関係)

										- be-	
				日 E意)	(時間外労働及	1 箇	月 た時間数。100 時間未	満に限る。)	720 F 起算日	1年 ト労働のみの時間参 時間以内に限る。 2024年12)
臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合	業務の種類	労働者数	延長することができる時間数		延長することができ 及び休日労働の				(年月日) 延長することか	ぶできる時間数	
		以上の者	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	とができる回数	法定労働時間を超 える時間数と休日 労働の時間数を合	所定労働時間を超 える時間数と休日	限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率	超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率
設備・機械・人員・天災等の計画変更による	電子部品の組立・	26 人			6 回	78 時間	 	25%	715 時間		25%
製品部品の納期が予想を上回る逼迫及び臨時の	検査・梱包										
受注に対応する為	ピッキング										
							1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			-
							1 1 1		极当	生	
					1		! ! !	<i>F</i>		2.19	
							1 1 1 1	-	- 0, 1	Z, 1 J	
限度時間を超えて労働させる場合における手続	労働者代表者に対す	ーる事前申し	入れ						「	第	
限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び 福祉を確保するための措置	(該当する番号)	(具体的内容 対象労働者	i) への医師によるi	面接指導の実施					(N)		
上記で定める時間数にかかわらず、時間外労	働及び休日労働を合領	算した時間数	女は、1箇月につ	いて 100 時間未満	帯でなければな	らず、かつ2箇	月から6箇月ま	でを平均して	て 80 時間を超過 (チェッ	しないこと。 クボックスに要う] チェック)
協定の成立年月日 2024 年 12 月	20 目			- HINGS 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	聯夕 44号	100					
切っの火車者でする 学働の ◆ (車業用の労働者の温火料	元知徳十て労働の人) の夕野田!	ナ労働者の温业料	な仕事する老の	1111 111 111 111	(=K)					

協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法(選挙による選出

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 (チェックボックスに要チェック)

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による 手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。 (チェックボックスに要チェック)

職名 代表取締役 氏名 松岡 敬太

彦根 労働基準監督署長殿

1年単位の変形労働時間制に関する協定届

						1 1 1-1-1	24/12/20	1-24 4 1	4.11.4									
事業の種	類	事	業	0)	名	称	事	業	の	所	在	地	(電	話	番	두	글)	常時使用する労働 者数
労働者派遣事業				ールド 子株式会社			滋賀	星県彦	根市旭	月116-1	22田中	ピル3	BF (0)749-	22-75	502)		500人
該 当 労 働 者 (満18歳未満の者)		対 象 (期間起	及び算	特定日	期 間)	対象期労働時					* 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	象期間 寺間数	中のこ	1週間	のュ	区均労	協定の有効期間
26 ()		2024 [£]	F12月21	日~2025	年12月2	20日			(別紙)					38 時	間 00) 分		2024年12月21日~ 2025年12月20日まで
労働時間が最も長い 労働時間 (満 18 歳未 満 の	多	汝	7時(時		15分 分)	労	時間が最 働 時 8 歳 未	計間	数数	:		寺間 時間	30分 分)				日数	255 日
労働時間が48時間を 連続週数	を超れ	える週の	最長					週	対象期	間中	の最も	長い記	車続労 [・]	働日数	数			6日間
対象期間中の労働時 える週数	時間7	が48時間	を超					週 !	特定期	間中	の最も	長い	車続労	働日数	数			日間

旧 協 定 の 対 象 期 間	1年間	旧協定の労働時間が最も長い日の労 働時間数	7 時間 45 分
旧協定の労働時間が最も長い週の労 働時間数	46 時間 30 分	旧協定の対象期間中の総労働日数	256日

協定の成立年月日

2024 年 12 月 20 日

協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法(選挙による選出

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。☑(チェックボックスに要チェック)

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第 41 条第 2 号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。☑(チェックボックスに要チェック)

-6,12,19

代表取締役

松岡敬太

氏名

2024 年 12 月 20 日

彦根 労働基準監督署長殿

記載心得

- 1 労働基準法第60条第3項第2号の規定に基づき満18歳未満の者に変形労働時間制を適用する場合には、基該当務働者数」、労働時間が最も長い日の労働時間数」及び「労働時間が最も長い週の労働時間数」の各欄に括弧書きすること。
- 2 「対象期間及び特定期間」の欄のうち、対象期間については当該変形労働時間制における時間通算の期間の単位を記入し、その起算日を括弧書きすること。
- 3 「対象期間中の各日及び各週の労働時間並びに所定休日」については、別紙に記載して添付すること。
- 4 「旧協定」とは、労働基準法施行規則第12条の4第3項に規定するものであること。
- 5 協定については、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合はその労働組合と、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合は労働者の過半数を代表する者と協定すること。なお、労働者の過半数を代表する者は、労働基準法施行規則第6条の2第1項の規定により、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて、使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。これらの要件を満たさない場合には、有効な協定とはならないことに留意すること。また、これらの要件を満たしていても、当該要件に係るチェックボックスにチェックがない場合には、届出の形式上の要件に適合していないことに留意すること。
- 6 本様式をもつて協定とする場合においても、協定の当事者たる労使双方の合意があることが、協定上明らかとなるような方法により締結するよう留意すること。

1年単位の変形労働時間制に関する労使協定書

株式会社ワールドプラン(以下「会社」という)と従業員代表 永野 潤 (以下「従業員代表」という)は、1年単位の変形労働時間制に関し、次のとおり協定する。

(勤務時間)

第1条 所定労働時間は、1年単位の変形労働時間制によるものとし、1年を平均して週40時間 を超えないものとする。

1日の所定労働時間、始業・終業の時刻、休憩時間は次のとおりとする。

日勤 始業 8:15 終業 17:00 (所定労働時間:7時間45分)

休憩 10:00~10:10 12:00~12:40 15:00~15:10

(休憩時間合計:60分)

夜勤 始業 20:15 終業 5:00 (所定労働時間:7時間45分)

休憩 22:00~22:10 0:15~0:55 3:00~3:10

(休憩時間合計:60分)

(起算日)

第2条 変形期間の起算日は、令和6年12月21日とする。

(休 日)

第3条 変形期間における休日は、別紙「年間カレンダー」のとおりとする。

(時間外手当)

第4条 会社は、第1条に定める所定労働時間を超えて労働させた場合は、時間外手当を支払う。

(対象となる従業員の範囲)

- 第5条 本協定による変形労働時間制は、次のいずれかに該当する従業員を除き、全従業員に適 用する。
 - (1) 18歳未満の年少者
 - (2)妊娠中又は産後1年を経過しない女性従業員のうち、本制度の適用免除を申し出た者

(特定期間)

第6条 特定期間は定めないものとする。

(有効期間)

第7条 本協定の有効期間は、起算日から1年間とする。

令和6年12月27日

(使 用 者) 株式会社ワールドプラン 代表取締役 松岡 (従業員代表) 株式会社ワールドプラン 従業員代表 永野



6, 12, 19

ワボウ電子株式会社 第2生産本部

2025年(令和七年)カレンダー

2024		12月	- Dec.		稼働日	22
= 5	月	火	水	木	金	主
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	(30)	(31)				

2025		1月	- Jan.		稼働日	20
= 0	月	火	水	木	金	土
				(2)	(3)	[4]
5	6	7	8	9	10	11
12	Г13_	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	(25)
26	27	28	29	30	31	

		2月 ·	Feb.		被伽日	23
E	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	(1) [8]
9	10	[11]	12	13	14	(15)
16	17	18	19	20	21	(22)
T231	[24]	25	26	27	28	

		3月 -	Mar.		稼働日	21
且	月	火	水	木	金	+
2	3	4	5	6	7	[8]
9	10	11	12	13	14	(15)
16	17	18	19	[20]	21	(22)
23	24	25	26	27	28	(29)
30	31					

		4月 -	Apr.		稼働日	21
=	月	火	水	木	金	土
100		1	2	3	4	(5)
6	7	8	9	10	11	[12]
13	14	15	16	17	18	(19)
20	21	22	23	24	25	(26)
27	28	Г29 J	30			

		5月 -	May.		稼働日	21
	月	火	水	木	金	土
			7 ⁽⁴	1	2	[3]
Г4 J	[5]	[6]	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	(17)
18	19	20	21	22	23	(24)
25	26	27	28	29	30	(31)

		6月 -	- Jun.		稼働日	23
E	月	火	水	木	金	土
	2	3	4	5	6	[7]
8	9	10	11	12	13	(14)
15	16	17	18	19	20	(21)
22	23	24	25	26	27	(28)
29	30					



ĺ	凡例	
1	()	
1	時	
ı	短	
ı	休	
	B	
ı		
1	祝	
1	祭	
1	日	
1		
	全	
I	社	
	飫	
1		
- 1	6.00	

祝祭日;出勤日(振替)

		7月	- Jul.		稼働日	21
M =10	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	[12]
13	14	15	16	17	18	(19)
20	T211	22	23	24	25	(26)
27	28	29	30	31		

		8月	- Aug.		稼働日	20
32 = 3	月	火	水	木	金	10-
3	4	5	6	7	8	[2] (9)
10	T11,	12	(13)	(14)	(15)	(16)
17	18	19	20	21	22	(23)
24 31	25	26	27	28	29	(30)

		9月 -	Sep.		稼働日	21
# = M	月	火	水	木	金	土
10.00	1	2	3	4	5	(6)
7	8	9	10	11	12	[13]
14	Г15 」	16	17	18	19	(20)
21	22	[23]	24	25	26	(27)
28	29	30				

		10月	- Oct.		稼働日	21
=	月	火	水	木	金	土
N X			1	2	3	(4)
5	6	7	8	9	10	[11]
12	[13]	14	15	16	17	(18)
19	20	21	22	23	24	(25)
26	27	28	29	30	31	

		11月	稼働日	22		
E	月	火	水	木	金	1
2	Г3_	4	5	6	7	(1) [8]
9	10	11	12	13	14	(15)
16	17	18	19	20	21	(22)
T231	Г24_	25	26	27	28	(29)

		12月	- Dec.		稼働日	21
E	月	火	水	木	金	土
PI CENT	1	2	3	4	5	(6)
7	8	9	10	11	12	[13]
14	15	16	17	18	19	(20)
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31		Se Ve	

(年間労働日:255日-年間休日:110日)

改訂番号[00]	第2生産本部
初版発行	ラボウ 第2生産本部 24/09/20 引山

-6,12,19

収発

時間外労働 に関する協定届 休 日 労 働

労働保険番号	≥ 5 7 0 2 0 6 6 5 3 0 0 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
法人番号	$4\;1\;3\;0\;0\;0\;1\;0\;3\;3\;2\;7\;1$

様式第9号の2(第16条第1項関係)

	事業の種類			事業の名称			事業	の所在地(電話	番号)		協定の有効期間	
	労働者派遣事業			ールドプランスタッフ事業 ボウ電子株式会社 本社工	(〒 522 - 滋賀県彦根市)	- 0073) 旭町 6-22 田中ヒ		舒子:0749 -	22 -7502)	2024 年 12 月 21 日から 2025 年 12 月 20 日まで 1 年間		
									延長することな	びできる時間数		
		時間外労債 必要のある		1		所定労働時間 (1日) (任意)			1 箇月 (①については 45 時間まで) ②については 42 時間まで)		起算日 2024 4	時間まで) 丰 12 月 21 日
						ř. d	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	法定労働時間を 超 える 時 間 数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	(HZ) (HZ) (HZ) (HZ) (HZ) (HZ) (HZ) (HZ)	所定労働時間を 超える時間数 (任意)
		設備・機械・人員	・天災等	電子部品のピッキング		7 時間 45 分				i ! !		
時間) 下記②に該当しない労 働者	計画変更による製	品・部品の		6	P**(11 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14			**************************************	Faulus (Md) Hall Hill (Visibured dall) ,		
問外労働		納期及び臨時の受	生に対応する為						TITO		11 - 346 44 3 (EE)3109 (1494) (1594) (1594) (1596) (1796)	NGC CPP THE And I show on the shift to come
働		司.	E	同上	2人	7 時間 45 分	5 時間		42 時間	(13)10°°°10'10'10'10'10'10'10'10'10'10'10'10'10'1	320 時間	gor naist the contract contract to the contrac
	② 1年単位の変形労働時間制 により労働する労働者						7	1	Here and the second sec			Augustin (1997) (Augustin (1997) (August
		waa Mara aldeekki ardii Haadii Helda NAMii alkiba adi	Ill rendert Gross del lieben del O(mobil (delm 1199) (dele	97(4):604 48 habit (Editor) (Otheron (Otheron (Otheron))	労働者数	die Green von der State von 2014 (Leichte)	COMMING-61 CANGO GRADIA GARANA			Teaming International Constitution	(er ellekt filderfelt MARIK filderfelte en seks (er eksemmet et el	
休日	休日労働をさせる必要のある具体的事由		業務の種類	プ間有数 (満18歳 以上の者)		所定休日 (任意)	_	労働させることができる 法 定 休 日 の 日 数		労働させることができる法定 休日における始業及び終業の時刻		
労	設備・機	繊・人員・天災等		同上	2 人	派遣	先カレンダーに準ずる		1 か月に 3 回		8:15~17:00	
働	計画変更による製品・部品	の納期及び臨時の受	:注に対応する為		44000	and the filter and the second		A control of the cont				
					J	L			L			

上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数は、1箇月について 100 時間未満でなければならず、かつ2箇月から6箇月までを平均して80時間を超過しないこと。 🗹 (チェックボックスに要チェック)



様式第9号の2 (第16条第1項関係)

			1	(原本用原列 みを加上)	1 僧	j月 た時間数。100 時間未	1年 (時間外労働のみの時間数。 720時間以内に限る。)				
			(任意)		(mackini 2.1-22) (mackini 2.1-22)	(OW 11 2) Mag 11 34 O	Cadinist's 100 ndlid's	- (Mg 1 ~ (Mg 2 g) a }	起第日 (年月日)	2024年12	月 21 月
臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合	業務の種類	労働者数 (満 18 歳 以上の者)	延長すること	ができる時間数		及び休日労	ができる時間数 働 の 時 間 数		延長することが	『できる時間数	-
		·沙丁小祖,	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	限度時間を超え て労働させるこ とができる回数 (6回以内に収る。)	法定労働時間を超 える時間数と休日 労働の時間数を合		限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率	法定労働時間を 超える時間数	別足労働時間を 超ラス時間数	限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率
設備・機械・人員・天災等の計画変更による	電子部品のピッキ ング	2 人			6回	78 時間	1 1 1 1	25%	715 時間		25%
製品部品の納期が予想を上回る逼迫及び臨時の	III - IIIDIOSIII II III 466-490-480 II - BEQUEEN AA AANAA	anning and project of the second control of	enderfetzinkur herbitär der verselnd redeliktär pietistelle her	 	-ановомичонновы) али-жа	The state of the s	1 1 1 1				-Sialnas i vasalificroremedi?) i ricibias i Nobella
受注に対応する為							 				+D90+111-1411/4/Wikehrmaihalan
	no sa kaliforna na lifenana manya manana wasana wasan wasan wasan wasan kaliforni					Managara (Alifforda e 1940 HOMan (KH-1944) (Printer)	Action of the control		·Me	MITTERS CONTRACTOR CON	*ED#**418+148*4*****************************
	III o naarka na sa adrekamarkassa maka tursar kassa ka			schriem brosoniformus (arbonamus morbolisalia)	of the harden construction and the second			吳國基		 ahanananahahananahahahanan Matteettahahaha	
придать жудать и для жудать изголомительную вида в изграмительную вида и на уденняю и и на изгладии и вида и и	ie manne de sam affermen ikonin reporter an mentjerne principalitie.			Appropriate and other transfer from the state of the stat	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		/20//	-6, i2	19		
	se orbeiten eite be eisse milderen strein felde filde frei de diffilie	sarrifellesarrin ossanda sassinala arkassassa				where a substitute of the state				All the behavior and the second and the behavior and the second s	
				' 				署収察			
限度時間を超えて労働させる場合における手続	労働者代表者に対す	る事前申し	入れ					- N 70			
限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び 福祉を確保するための措置	(該当する番号) ⑨	(具体的内容 対象労働者) への医師によるi	面接指導の実施							
上記で定める時間数にかかわらず、時間外労	動及び休日労働を合賃	算した時間数	は、1箇月につ	いて 100 時間未満	けでなければな	らず、かつ2箇	月から6箇月ま	でを平均して		しないこと。 又 フボックスに要う	
協定の成立年月日 2024 年 12 月	20 日										

協定の当事者である労働組合(事業場の労働者の過半数で組織する労働組合)の名称又は労働者の過半数を代表する者の 協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法(選挙による選出

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 (チェックボックスに要チェック)

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による 手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。 2 (チェックボックスに要チェック)



彦根 労働基準監督署長殿

1年単位の変形労働時間制に関する協定届

事業の種類	事 業	の名	称	事	業	Ø	所	在	地	(電	話	番	号)	常時使用する労働 者数
労働者派遣事業	1	ノールドプラン 3子株式会社本社・		滋賀	県彦村	退市旭	HT6-2	22田中				22-750		500人
該 当 労 働 者 数 (満18歳未満の者)	対 象 期 間 (起	及び特定 算 日	期間)	対象期 労働时						象期間。 時間数	中の 1	週間	の平均労	協定の有効期間
26人 (人)	2024年12月2	1日~2025年12月2	20日		((別紙)				3	8 時	間 00	分	2024年12月21日~ 2025年12月20日まで
111.4	数 (間	f間 45分 持間 分)	労	寺間が最 働 時 8 歳 未	間	数		46K (計間 時間	30分 分)			期間中の 働 日 数	255 日
労働時間が48時間を超 連続週数	【える週の最長				週	対象期	間中の	の最も	長い	車続労働	動日数	ά		6日間
対象期間中の労働時間 える週数	が48時間を超				週 4	時定期	間中(の最も	長い	車続労何	動日数	ά		日間

旧 協 定 の 対 象 期 間	1年間	旧協定の労働時間が最も長い日の労 働時間数	7 時間 45 分
旧協定の労働時間が最も長い選の労 働時間数	46 時間 30 分	旧協定の対象期間中の総労働日数	256日

協定の成立年月日

2024 年 12 月 20 日

協定の当事者である労働組合(事業場の労働者の過半数で組織する労働組合)の名称又は労働者の過半数を代表する者の

代表する者の 職名 社員 氏名 永野



協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法(選挙による選出

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 🗹(チェックボックスに要チェック)

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある表でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意味に思うき選出される人のでないこと。②(チェックボックスに要チェック)

2024 年 12 月 20 日

-6.12.19

使用者 職名 代表取締 氏名 松岡 敬

彦根

労働基準監督署長殿

記載心得

- 1 労働基準法第60条第3項第2号の規定に基づき満18歳未満の者に変形労働時間制を適用する場合に促発「該当労働者数」、「労働時間が最も長い日の労働時間数」及び「労働時間が最 も長い週の労働時間数」の各欄に括弧書きすること。
- 2 「対象期間及び特定期間」の欄のうち、対象期間については当該変形労働時間制における時間通算の期間の単位を記入し、その起算日を括弧書きすること。
- 3 「対象期間中の各日及び各週の労働時間並びに所定休日」については、別紙に記載して添付すること。
- 4 「旧協定」とは、労働基準法施行規則第12条の4第3項に規定するものであること。
- 5 協定については、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合はその労働組合と、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合は労働者の過半数を代表する者と協定すること。 なお、労働者の過半数を代表する者は、労働基準法施行規則第6条の2第1項の規定により、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて、使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。これらの要件を満たさない場合には、有効な協定とはならないことに留意すること。また、これらの要件を満たしていても、当該要件に係るチェックボックスにチェックがない場合には、届出の形式上の要件に適合していないことに留意すること。
- 6 本様式をもつて協定とする場合においても、協定の当事者たる労使双方の合意があることが、協定上明らかとなるような方法により締結するよう留意すること。

1年単位の変形労働時間制に関する労使協定書

株式会社ワールドプラン(以下「会社」という)と従業員代表 永野 潤 (以下「従業員代表」という)は、1年単位の変形労働時間制に関し、次のとおり協定する。

(勤務時間)

第1条 所定労働時間は、1年単位の変形労働時間制によるものとし、1年を平均して週40時間 を超えないものとする。

1日の所定労働時間、始業・終業の時刻、休憩時間は次のとおりとする。

日勤 始業 8:15 終業 17:00 (所定労働時間:7時間45分)

休憩 10:00~10:10 12:00~12:40 15:00~15:10

(休憩時間合計:60分)

夜勤 始業 20:15 終業 5:00 (所定労働時間:7時間45分)

休憩 22:00~22:10 0:15~0:55 3:00~3:10

(休憩時間合計:60分)

(起算日)

第2条 変形期間の起算日は、令和6年12月21日とする。

(休 日)

第3条 変形期間における休日は、別紙「年間カレンダー」のとおりとする。

(時間外手当)

第4条 会社は、第1条に定める所定労働時間を超えて労働させた場合は、時間外手当を支払う。

(対象となる従業員の範囲)

- 第5条 本協定による変形労働時間制は、次のいずれかに該当する従業員を除き、全従業員に適 用する。
 - (1) 18歳未満の年少者
 - (2) 妊娠中又は産後1年を経過しない女性従業員のうち、本制度の適用免除を申し出た者
 - (3) 育児や介護を行う従業員,職業訓練又は教育を受ける従業員その他特別の配慮を要する従業員に該当する者のうち,本制度の適用免除を申し出た者

(特定期間)

第6条 特定期間は定めないものとする。

(有効期間)

第7条 本協定の有効期間は、起算日から1年間とする。

令和6年12月27日

(使 用 者) 株式会社ワールドプラン 代表取締役 松岡 (従業員代表) 株式会社ワールドプラン 従業員代表 永野



-6.12.19

[令和7年(2025年)カレンダー]

発効日 2024/12/13 総務課

[12,	月]							•	-								宝 📵	基件	鹽	1
日	月	火	水	木	金	土		備考									77			Z.M.
						21									- A	<u> </u>			1 Q	
22	23	24	25	26	. 27	28					の休日	∃,	{ }=統	一休	∄ (- b	, 12	10	705
29	(30)	(31)						<>=剂	兄祭日	,					'	WAS	\prod			Y W
- <u></u> -	3 7						[2,5	 17						[3]	37	1	學	収発		<u></u>
一	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	眉	7	火	水	木	金	土
	1.1		<1>	(2)	(3)	[4]		 ``		- 77			(1)		 ''		×14	717	712	(1)
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7.	{8 }	2	3	4	5	6	7	[8]
12	<13>	14	15	16	17	18	9	10	1111	12	13	14	(15)	9	10	11	12	13	14	
19	20	21	22	23	24	(25)	16	17	18	19	20	21	(22)	16	17	18	19	Γ20 _. 1	21	(22)
26	27	28	29	30	31		23	[24]	25	26	27	28	\	23	24	25	26	27	28	(29)
						5.								30	31					
	稼働	19	日/	休日	12	日		稼働	23	日/	休日	8	E		稼働	20	日/	休日	8	日
<u>[4 F</u>							[5 <i>]</i>	- A	·					[6]]]					
旦	月	火	水	木_	金	_ 土	且	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
11		. 1	2	3	4	(5)		ŀ			1	2	[3]	1	2	3	4	5	6	[7]
6	. 7	8	9	10	11	[12]	4	<5>	(6)	7	8	9	10	8	9	10	11	12		(14)
13	14	15	16	17	18	(19)	11	12	13	14	15	16	(17)	15	16	17	18	19		(21)
20	21	22	23	24	25	(26)	18	19	20	21	22	23	(24)	22	23	24	25	26	27	(28)
27	28	ر 29 <u>ا</u>	30			l	25	26	27	28	29	30	(31)	29	30					
 L	**			·			<u> </u>	- 1 - 1 - 1						 	<u> </u>			· .		<u>. </u>
	稼働	21	日/	休日	10	且	·}	<u>稼働</u>	21	旦/	<u>休日</u>	9	<u> </u>	ro e	<u>稼働</u>	23	旦/	<u>休日</u>	8	日
日日	月	火	水	木	金	土	[8月 日	月	火	水	木	金	土	[9 <i>]</i>] 月	ala	-1L	木	金	土
╟╨	7	- ^-	2	3	亚 4	(5)				<u> </u>	- 1	<u> 312.</u> 1	[2]	=	1 7 1	<u>火</u> 2	<u>水</u> 3	4	<u>जर</u> 5	(6)
6	7	8	9	10	11	[12]	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	ა 10	11	12	(b) {13}
13	14	15	16	17	18	19	10	7 [11]	12	(13)	(14)	(15)	(16)	14	<15>	16	17	18	19	20
20	<21>	22	23	24	25	(26)	17	18	19	20	21	22	(23)	21	22	「23」	24	25	26	(27)
27	28	29	30	31		(20)	24	25	26	27	28	29	(30)	28	29	30	_	2	2.0	(2.77
				Ţ.		ı	31				20		(00)		"	-			•	
	稼働	21	日/	休日	9	日		稼働	20	日/	休日	11	E	-	稼働	22	日/	休日	9	日
[10]]]						[11]	3]			MAGMAGE			[12,			±=====			
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		火	水	木	金	土
			1	2	3	(4)							(1)		1	2	3	4	5	(6)
5	6	7	8	9	10	(11)	2	<3>	4	5	6	7	{8}	7	8	9	10	11	12	(13)
12	<13>	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	(15)	14	15	16	17	18	19	(20)
[] '4 [00	00	24	(25)	16	17	18	19	20	21	(22)							
19	20	21	22	23		(20)														
i i		21 28	22 29	30	31	(20)		「24」	25	26	27	28	29			400				
19 26	20 27	28	29	30	31		30													
19 26	20	28		30	31	日	30	「24」 <u>稼働</u> 年間:	22	日/		9	29 日		稼働 年間		日/	<u>休日</u> 110		

1月1日元 日	5月 3日憲法記念日	9月23日秋分の日
1月13日成人の日	5月 4日みどりの日	10月13日スポーツの日
2月11日―建国記念の日	5月 5日こどもの日	11月 3日文化の日
2月23日天皇誕生日	5月 6日振替休日	11月23日勤労感謝の日
2月24日振替休日	7月21日―海の日	11月24日振替休日
3月20日春分の日	8月11日山の日	
4月29日昭和の日	9月15日敬老の日	
	ロボー語フサーキムサ	ロビー語フツ選が

ワボウ電子株式会社

ワボウ電子労働組合

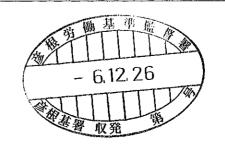
時間外労働 休日労働 に関する協定届

労働保険番号	→ 「
法人番号	413000/033574

様式第9号の2 (第16条第1項関係)

	事業の種類			事業の名称			事業		協定の有効期間				
	労働者派遣事業			ールドプラン スタッフ事業 三友エレクトリック株式会社		(〒 522 - 滋賀県彦	- 0073) 退市旭町 622		話号:0749 -	22 -7502)	2025年1月1日から1年間		
									延長することな	ぶできる時間数			
		時間外労働 必要のある。	. –	業務の種類	労働者数 (満 18 歳 以上の者)	1	į		②については 42 #	特別まで)	1年(①について ②については320! 起算日 (年月日)	時間まで) F1月1日	
		4	3				法定労働時間を 超える時間数	別足刃闕時間を 超える時間数 (任意)	法定労働時間を 超える時間数	別足刃関呼間を 超える時間数 (任意)	(年月日)] 法定労働時間を 超える時間数	超える時間数(任意)	
		de Makeshedi (180 Melledal) III III di II III di Al La Sacra Melles (1811) di	\$		TPERICONALIZATION		CONTROL OF THE STREET	CONTROL OF THE PROPERTY OF THE	(1100-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-		onther trails con free leaves let the other reference are trails.	The second secon	
時間	 ① 下記②に該当しない労	,	•										
外労働	働者	M betreefte in a first blades in each of the second file and a first blades of the second file and the sec								eranderk (de klosen het ei fellijk ist eranderk er seken het 1944 bezet (tre 1945 - Henri Carlon (de klosen het eranderk 1944 bezet (de klosen het eranderk			
段		業務!	察忙	配線組立・検査	29 人	8 時間 00 分	6 時間 30 分		42 時間		320 時間		
	② 1年単位の変形労働時間制 ■	納期	対応	リフト・梱包	- 5	8時間00分	6 時間 30 分		42 時間	AND IN THE PROPERTY OF THE PRO	320 時間	Miledon ellistimatella	
	により労働する労働者	人手"	不足	機械オペレーター	8	8時間00分	6 時間 30 分		42 時間		320 時間		
		その他業務上の	必要がある時	溶接・塗装	5	8 時間 00 分	6 時間 30 分		42 時間		320 時間		
休日	休日労働をさせ	る必要のある具体的	事由	業務の種類	労働者数 (満 18 歳 以上の者)		所定休日 (任意)		労働させるこ 法 定 休		労働させること 休日における始業及		
労働:	業務繫忙、	納期対応、人手不足	1025-0-2011	組立・検査・リフト・梱包	47名	派遣	先カレンダーにi	準 ずる	1 箇月	に4回	8:30 ~	. 17: 15	
铡	その他業務	その他業務上の必要がある時										,	

上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数は、1 箇月について 100 時間未満でなければならず、かつ 2 箇月から 6 箇月までを平均して 80 時間を超過しないこと。 🗹 (チェックボックスに要チェック)



様式第9号の2 (第16条第1項関係)

			1	. 日		1 僧				1年 小労働のみの時間 時間以内に限る。	
		労働者数 (満18歳)	(f:	任意)	(時間外労働及	及び休日労働を合算 し	た時間数。100 時間来	満に限る。)	起算日 (年月日)	2025年1	月1日
臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合	業務の種類		延長すること	ができる時間数		及び休日労	ができる時間数 働 の 時 間 数		延長することが	びできる時間数	
, ,		以上の者人	法定労働時間を 超える時間数		とができる回数 (6回以内に限る。)	法定労働時間を超 える時間数と休日 労働の時間数を合	所定労働時間を超 える時間数と休日 労働の時間数を合 算した時間数 (任意)	限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率	法定労働時間を 超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率
業務集中	・配線組立・検査	29 人	13 時間 30 分		6回	80 時間 00 分	(IIIII)	25%	720 時間		25%
納期対応	リフト・梱包	5人	13 時間 30 分	tarani malihi (dara milili malihi mili	6回	80 時間 00 分	 	25%	720 時間	† 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 1945 - 194 	25%
トラブル等対応	機械オペレーター	8人	13 時間 30 分		6回	80 時間 00 分		25%	720 時間	(—————————————————————————————————————	25%
決算等	溶接	3 人	13 時間 30 分	and the second s	6回	80 時間 00 分	######################################	25%	720 時間	- - - - - - - - - -	25%
その他臨時又は突発的に必要がある場合				月	令和 5 年 4 月 60 時間超過に 増賃金率は 50	こついての			anti-photos (1970) page and (1		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
限度時間を超えて労働させる場合における手続	労働者代表者に対す							6.12.2	<u> </u>		
限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び 福祉を確保するための措置	(該当する番号) ① ⑨	(具体的内容 対象労働		にる面接指導の実	ME			収発	1000		
上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働	動及び休日労働を合り	草した時間参	は、1箇月につ	いて 100 時間未満	「でなければな	らず、かつ2箇			- C 80 時間を超過 (チェック	しないこと。 「 フボックスに要う	イ チェック)

協定の成立年月日

12 月 26 日

協定の当事者である労働組合 (事業場の労働者の過半数で組織する労働組合) の名称又は労働者の過半数を代表する者の

選挙による選出

協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法(上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 (チェックボックスに要チェック)

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第 41 条第 2 号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。 (チェックボックスに要チェック)

2024 年 12 月 26 日

彦根 労働基準監督署長殿

1年単位の変形労働時間制に関する協定属

事	業	の	種	類	事	業	の	名	称	事	業	の	所	在	地	(電	話	翟	\$	号)	常時使用する労働 者数
	学働者					会社ワ ・ : 三友エ		-	会社)	滋賀	県彦	恨市旭	町6-2	22田中	リビルン3	F (()749-	-22-7	7502)	l 	47人
		労 歳未満			対 象	期 起 	及 び 算	特 定	期間)	対象期 労働時						を期間 時間数	中の	1 週	間の	平均劣	協定の有効期間
(7人 人)	2025 ⁴	年1月1日	~2025年	三12月31日	3			(別紙)				Ş	38時間	間 1	12分		2025年1月1日~ 2025年12月31日まで
労労	働	引が最 明 歳 未	f N	蝐	の 数 か)分 分)	労	持間が最 働 時 8 歳 未	置	数			8時間 時間	00分 分)				引中の 日数	
	助時間 売週数		3時間	を超	える週0	つ最長					週	対象期	間中の	の最も	長い連	基続労	動日初	数			6日間
	東期間 う週数		労働	時間	が48時程	『を超	1				週(間中の	の最も	長い連	越続労働	動日参	数			日間

旧 協 定 の 対 象 期 間	2024年1月1日~1年間	旧協定の労働時間が最も長い日の労 働時間数	8時間00分
旧協定の労働時間が最も長い週の労 働時間数	48時間00分	旧協定の対象期間中の総労働日数	249日

協定の成立年月日

2024 年 12 月 26 H

協定の当事者である労働組合(事業場の労働者の過半数で組織する労働組合)の名称又は労働者の過半数を代表する者の

協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の選出方法(

選挙による選出

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者 の過半数を代表する者であること。 (チェックボックスに要チェック)

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督ス 管理の地位はある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らか にして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であって使

2024 12 月 26 日

- 6,12,26

彦根

労働基準監督署長殿

記載心得

- 1 労働基準法第60条第3項第2号の規定に基づき満18歳未満の者に変形労働時間制を適用する場合には、「該当労働者数」、「労働時間が最も長い日の労働時間数」及び「労働時間が最 も長い週の労働時間数」の各欄に括弧書きすること。
- 2 「対象期間及び特定期間」の欄のうち、対象期間については当該変形労働時間制における時間通算の期間の単位を記入し、その起算日を括弧書きすること。
- 「対象期間中の各日及び各週の労働時間並びに所定休日」については、別紙に記載して添付すること。
- 4 「旧協定」とは、労働基準法施行規則第12条の4第3項に規定するものであること。
- 5 協定については、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合はその労働組合と、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合は労働者の過半数を代表する者と協定すること。 なお、労働者の過半数を代表する者は、労働基準法施行規則第6条の2第1項の規定により、労働基準法第 41 条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に 規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて、使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。こ れらの要件を満たさない場合には、有効な協定とはならないことに留意すること。また、これらの要件を満たしていても、当該要件に係るチェックボックスにチェックがない場合には、 届出の形式上の要件に適合していないことに留意すること。
- 6 本様式をもつて協定とする場合においても、協定の当事者たる労使双方の合意があることが、協定上明らかとなるような方法により締結するよう留意すること。

1年単位の変形労働時間制に関する労使協定書

株式会社ワールドプラン(以下「会社」という)と従業員代表 永野 潤 (以下「従業員代表」という)は、1年単位の変形労働時間制に関し、次のとおり協定する。

(勤務時間)

- 第1条 所定労働時間は、1年単位の変形労働時間制によるものとし、1年を平均して週40時間 を超えないものとする。
 - 1日の所定労働時間、始業・終業の時刻、休憩時間は次のとおりとする。

日勤 始業 8:30 終業 17:15 (所定労働時間:8時間 00 分)

休憩 12:00~12:45

(休憩時間合計:45分)

夜勤 始業 19:30 終業 4:15 (所定労働時間:8時間00分)

休憩 23:00~23:45 (休憩時間合計:45分)

(起算日)

第2条 変形期間の起算日は、令和7年1月1日とする。

(休 日)

第3条 変形期間における休日は、別紙「派遣先の年間カレンダー」のとおりとする。

(時間外手当)

第4条 会社は、第1条に定める所定労働時間を超えて労働させた場合は、時間外手当を支払う。

(対象となる従業員の範囲)

- 第5条 本協定による変形労働時間制は、次のいずれかに該当する従業員を除き、全従業員に適 用する。
 - (1) 18歳未満の年少者
 - (2) 妊娠中又は産後1年を経過しない女性従業員のうち、本制度の適用免除を申し出た者
 - (3) 育児や介護を行う従業員,職業訓練又は教育を受ける従業員その他特別の配慮を要する 従業員に該当する者のうち,本制度の適用免除を申し出た者

(特定期間)

第6条 特定期間は定めないものとする。

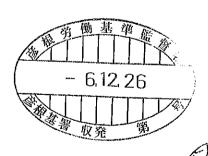
(有効期間)

第7条 本協定の有効期間は、起算日から1年間とする。

今和 6年 12月 27日

(使 用 者) 株式会社ワールドプラン 代表取締役 松岡

(従業員代表) 株式会社ワールドプラン 従業員代表 永野





株式会社**ワールドプラン** スタッフ事業部

	② 三友エレクトリッグ株式会社 名和 7 年度 休日表																
	日	月	火	水	木	金	土	備考		日	月	火	水	木	金	土	備考
		•			2	3	4	1 元日 13 成人の日			•	1	2	3	4	(5)	21 海の日
	(5)	6	7	8	9	10	11)			6	7	8	9	10	11	12	
1	12		14	15	16	17	18		7	13	14	15	16	17	18	19	
月	19	20	21	22	23	24	25	休11日 出20日	月	20		22	23	24	25	26	休 8日
	26	27	28	29	30	31	•			2)	28	29	30	31	R	*	出23日
			1	.	1	•	1	11 建国記念の日 23 天皇誕生日		Bå .	1	•	•	•	1	2	11 山の日
	2	3	4	5	6	7	8	24 振替休日		3	4	5	6	7	8	9	
2	9	10	\$) (\$	12	13	14	(15)		8	10		12	13	14	(15)	16	
月	<u>16</u>	17	18	19	20	21	22	休 8日	月	1	18	19	20	21	22	23	休14日
	(23)		25	26	27	28		出20日		24)	25	26	27	28	29	<u> </u>	出17日
	pž	•	•	•		•				(3)	•	•	•	• .	•		
	•	•	•	•	•	•	(1)	20 春分の日			1	2	3	4	5	6	15 敬老の日 23 秋分の日
	(2)	3	4	5	6	7	8			7	8	9	10	11	12	(13)	
3	9	10	11	12	13	14	(15)		9	(14)	∂}_K56 >	16	17	18	19	<u>(20)</u>	
月	(16)	17	18	19	(\$2,Q ²)	21	<u>(22)</u>	休10日	月	<u>(2)</u>	22	(2)3°	24	25	26	27)	休 8日
	<u>(23)</u>	24	25	26	27	28	(29)	出21日		(28)	29	30	-	•	•	•	出22日
-	30	31		•	•	•	•			9				•	•		
		•	1	2	3	4	(5)	29 昭和の日			-	1	1	2	3	<u>4</u>)	13 スポーツの日
4	<u>(6)</u>	7	8	9	10	11	(12)		10	(5)	6	7	8	9	10	\oplus	
月	\odot	14	15	16		18	(19)	休 8日 出22日	月	\sim		14	15	16	17	(18)	休 9日 出22日
	(S)	21	22	23	24	25	26			(19)	20	21	22	23	24	<u>(25)</u>	11 22 pq
	<u>(27)</u>	28	%	30	•	•	•			(26)	27	28	29	30	31	•	
	**************************************	•	•	•	1	2	300	3 憲法記念日 4 みどりの日 5 こどもの日			*	1	•			\odot	3 文化の日 23 勤労感謝の日 24 振替休日
_				7	8	9	(1)	6 振替休日	١	(33)	®	4	5	6	7	8	
5		12	13	14	15	16	(1)	休11日		9	10	11	12	13	14	(15)	the a se
月	(18) (2)	19	20	21	22	23	(2 4)	出20日	月	(16)	17	18	19	20	21	(2) (3)	休10日 出20日
	(25)	26	27	28	29	30	(31)				%2,4 €	25	26	27	28	(29)	
		•	•	-	•		•		-	(30)	•		•	•	-	•	
	<u>)(</u>	2	3	4	5	6 `	<u>(7)</u>				1	2	3	4	5	<u>6</u>	
e	(B)	9	10	11	12	13	(1)			$\overline{0}$	8	9	10	11	12	<u> </u>	
6	(15)	16 23	17	18 25	19	<u>(20)</u>	(21)		12	(<u>*</u>)	15	16	17	18	19	20	
月	(22) (29)	30	24	20	26	27	28	休 9日 出21日	月 	(21)	22 (29)	23	24 (21)	25	26	27	休10日 出21日
	<u>(9)</u>	30	-			-			1	(28)	<u> </u>	(30)	(31)	•			
,	0	休日		\bigcirc	一斉	年休	指定	日	年間,	出勤日	24	19日			年間位	木臼	116日

時間外労働 休日労働 に関する協定届

労働保険番号	2 5 1 0 2 0 0 6 6 5 3 0 0 0 w-括事業場番号
法人番号	4 1 3 0 0 0 1 0 3 3 2 7 1

様式第9号の2 (第16条第1項関係)

	事業の種類			事業の名称			事業の所在	地(電話番号)	協定の	協定の有効期間		
	労働者派遣事業(エレベータ等	の製造・設計)		式会社ワールドプラン 先フジテック株式会社)		(〒 522 - 滋賀県彦根市)	- 0073) 退町 6-22 田中ビル 3F	and the second of the second o	2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで			
								延長することができる	る時間数			
		時間外労債 必要のある		業務の種類		所定労働時間 (1日) (任意)		1箇月 (①については 4) で、②については 42 時間	起算日 2025	は320時間まで)		
					以上の者	,,	法定労働時間を所定労 超える時間数超える	働時間を 法定労働時間を所定労 5時間数 超える時間数 毛意)	ř働時間を お時間数 お時間数超える時間数 任意)	所定労働時間を 超える時間数 (任意)		
	, ,	緊急を要する	る加工・組立	製作	2	7 時間 50 分	15 時間	45 時間	360 時間			
時間外労働	① 下記②に該当しない労 働者											
	② 1年単位の変形労働時間制 により労働する労働者											
休口	休日労働をさせる	たる必要のある具体的事由		業務の種類	労働者数 (満 18 歳 以上の者)		所定休日 (任意)	労働させることが [*] 法 定 休 日 の	日 数 休日における始	とができる法定 業及び終業の時刻		
日労働	緊急を要	緊急を要する加工・組立		製作	2	会	社カレンダーによる	4 週の法定休日のうち る。ただし、法定休日 を含めて、必ず4 週に 日を確保するものと	以外の日 2回の休 0時00分	~24 時 00 分		
									甘 维 座	_/		

上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数は、1箇月について100時間未満でなければならず、かつ2箇月から6箇月までを平均した80時間を超過しないこと。 (チェックボッグスに要チェック)

-7, 3, 25

収発

様式第9号の2 (第16条第1項関係)

依氏第35002 (第10 米第1 項関係)											
			0.7	. 日 £意)	(라비 사 사 메리다)	1箇	5月 た時間数。100 時間末	- 法に限る)	720 F	1年 小労働のみの時間 時間以内に限る。	
		334 tot also 144	(1=	上息,	(時间外为側)及	(ひ体日为側を音算し	/こ時間数。100時間	(例に収る。)	起算日 (年月日)	2024年4	月1日
臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合	業務の種類	労働者数 (満18歳 以上の者)	延長すること	ができる時間数		及び休日労	ができる時間数 ・働 の 時 間 数		延長することが	ぶできる時間数	
		(以上の者)	法定労働時間を超える時間数	所定労働時間を 超える時間数 (任意)	とができる回数 (6回以内に限る。)	法定労働時間を超 える時間数と休日 労働の時間数を合	所定労働時間を超 える時間数と休日 労働の時間数を合 算した時間数 (任意)	ノレイ こ ノン 対 1 ー レト	表ってん田子間が		限度時間を超 えた労働に係 る割増賃金率
エレベータ・エスカレータ等の納期逼迫等による大幅な業 務集中に対する場合、または緊急の変更・手直しによる事 務・折衝等の調整に対応するため。	200.000	2	8 時間		6 回	80 時間		25% (月間 60 時間を超 えた場合は 50%	720 時間		25%
							1			 	
							1				
										1 1 1 1	
										i ! !	
限度時間を超えて労働させる場合における手続	労働者代表への通知	Д									
限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び 福祉を確保するための措置	(該当する番号) ⑨	(具体的内容 必要に応じ	No.	よる助言・指導を	受け、又は労働	動者に産業医等に	こよる保険指導を	を受けさせる	こと。		
上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働	・ 動及び休日労働を合領を合領を合領を合う。	算した時間数	なは、1箇月につ	いて 100 時間未満	でなければな	らず、かつ2箇	月から6箇月ま	でを平均して		しないこと。 レボックスに要う	100 1007/400
協定の成立年月日 2025 年 3 月 24	日				mile to McAllic						
協定の当事者である労働組合(事業場の労働者の過半数で	で組織する労働組合	の名称又は	は労働者の過半数	を代表する者の	職名 営業 氏名 永野						
協定の当事者(労働者の過半数を代表する者の場合)の過		1100 A. STOCK	要による選出 * でも スワは L 記	协会の坐事老べも) ス労働者の温	业粉 た (小主・) ス	学 が事業担の合	ての労働者の	2回 火米 な 化事子	カスギでなるこ	
上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働	別句の週干数で組織。	9 のガ側組合	すでめる又は上記	励止のヨ争有であ	ソシカ側有の週	十奴を1\衣りる	日が尹耒場の王	7万1則有0		文本シクスに引	
上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第 41 : 続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出	付されたものでない.	監督又は管理	理の地位にある者 チェックボック	背でなく、かつ、同 スに要チェック)	司法に規定する	協定等をする者	fを選出すること	を明らかにし		公票、挙手等の	
2025 年 3 月 24	Ħ					(1) 1.33				1925	

氏名 松岡

彦根 労働基準監督署長殿

1 年単位の変形労働時間制の協定書

ダイ 株式会社テ S フ事業部従業員代表 7 H ム・チ ~ V J. クスR&Gスタ 1年単位の変形労働時間制に関し、 ッフ事業部と株式会社テ 7 次の通 HY 5 協定す V. 4 . N スR&G

- 本協定に基づ \wedge 1年単位の変形労働時間制は、 滋賀工場全従業 員に適用す No
- 舥 2 条 * 協定の対象期間は、 2025年4月1日から2026年3月31日 H 9 年買 \sim N
- 第3条 対象期間における休日は、次の通りとする。
- 1. 日曜日
- 2. 国民の祝日
- 3. 部門ごとに別途定める年間カレンダー
- 舥 4 条 対象 期間にお 7 N 所定労働 Ш 前条に定める休日以外の日 7
- 舥 S 条 対象期間における 所定労働時間は、8時間15分とす N
- 舥 6 条 前条に定める所定労働時間を超え て給与規定の定め N 7 1 どに 9-5 て労働させた場合、 時間外手当 4 女女 会社は、 SY 8 とする。 時間外労働 7
- 7 本協定の有効期間は、 2026年3月31日 911 くな いるか。

2025年 3月 24日

株式会社ティーエム・テックスR&Gスタ 代表者取締役 松岡 敬太

株式会社ティーエム・テックスR&Gスタップ事業程 従業員代表 福島 真佐道



出版目 21 休日 9

1 8.25 8.25 15 8.25 8.25 8.25 8.25

7k 8.25 9 9 8.25 16 8.25 23 8.25 8.25 8.25

4月

51 H

12

株式ティーエム・テックス

16.50		41.25		41.25		41.25		33.00		
						休日 9	出動日 22		10月	
	26		19		12		υı			ш
8.25	27	8.25	20		13	8.25	6			Я
_		8.25	21	8.25	14	8.25	7			×
8.25	29	8.25	22	8.25	15	8.25	00	8.25	_	¥
8.25	30	8.25	23	8.25	16	8.25	9	8.25	2	K
8.25	31	8.25	24	8.25	17	8.25	10	8.25	ట	強
			25		18		11		4	Н
41.25		41.25		33.00		41.25		24.75		Committee of the Commit
	8.25 8.25 8.25 8.25	26 27 28 29 30 31 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25	8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 26 27 28 29 30 31 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25	19 20 21 22 23 24 25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 26 27 28 29 30 31 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25	19 20 21 22 23 24 25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 26 27 28 29 30 31 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25	12 13 14 15 16 17 18 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.2	He 9 8.25	Habbit 22 5 6 7 8 9 10 11 4kH 9 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 12 13 14 15 16 17 18 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 19 20 21 22 23 24 25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 26 27 28 29 30 31 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25	Habbil 22 5 6 7 8 9 10 11	Habii 22 5 6 7 8 9 10 11 1 1 1 1 1 1 1

- 1								
						30		
00	_						_	
29						23		
	8.25							
22	21				17	16		
	8.25							
15	14	13	12	11		9	11	休日
	8.25						19	日仰田
00	7	6			ယ	2		
_							щ	11月

出動日 20 休日 11

=

25 18

31 24 17

41.25

41.25 165.00

12 8.25 19 8.25 26 8.25

13 8.25 20 8.25 8.25 27

8.25 14 8.25 21 8.25 28 8.25

8.25 8.25 8.25 1.5 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

2 8.25 9 8.25 16 8.25 23 8.25 8.25

10

24.75

16.50

5_H

27 20 13

7 8.25 14 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

26 19

165.0									- 1
0.00				31	30	29	28		
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25			
	27	26	25	24	23	22	21		
41.25	200	8.25	8.25	8.25	8.25	8.25			
	20	19	18	17	16	15	14	11	休日
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25		20	日仰日
	13	12	11	10	9	00	7		
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25		4114	12月
	6	ຍ	4	ω	2	_			

出動日 21 休日 9

8.25 10 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

8.25 11 8.25 8.25 18 8.25 8.25

5 8.25 12 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

8.25 13 8.25 20 8.25 8.25 8.25

41.25 41.25

28 21

41.25 41.25

8.25 173.25

1 2 8.25 8 9 8 8.25 15 16 8.25 22 23 8.25 22 30 8.25 8.25

6月

						休日	日柳田		1月	
						12	19			
		25		18		11		4		
	8.25	26	8.25	19		12	8.25	υī		
	8.25	27	8.25	20	8.25	13	8.25	6		
	8.25	28	8.25	21	8.25	14	8.25	7		
	8.25	29	8.25	22	8.25	15	8.25	00		_
	8.25	30	8.25	23	8.25	16	8.25	9		2
		31		24		17		10		ಬ
156.75	41.25		41.25		33.00		41.25		0.00	

出動日 23 休日 8

7 8.25 14 8.25 21

8.25 8 8.25 115 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

2 8.25 9 9 8.25 16 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

8.25 10 8.25 8.25 17 17 8.25 8.25 8.25 8.25

19 8.25 **26**

4 8.25 11 8.25 18 8.25 8.25 8.25

12

20 13 6

28 8.25

33.00 189.75

33.00 49.50 41.25 33.00

7月

148,50	8.25	_	8.25	19	_	12 13 14	8.25	8
	8.25	25	8.25	18		11	8.25	
	8.25	24	8.25	17	8.25	10	8.25	000
		23	8.25	16	8.25	9	8.25	1
		22		15		00		
			_	10	18	L		
				休日	日韓田		2月	

出動日 17 休日 14

10

4 8.25 11

8.25 12

8.25 13

7 8.25

9 8.25 16

49.50

8.25

8.25 8.25 8.25

24 17

18 8.25 25 8.25

19 8.25 26 8.25

20 8.25 27 8.25

21 8.25 28 8.25

22 8.25 29 8.25

30

41.25 41.25 0.00

0.00

23

8_H

ಬ

						休日	田伽田		3月	
			_			10	21	L		
		29		22		15		8		1
	8.25	30	8.25	23	8.25	16	8.25	9	8.25	2
	8.25	31	8.25	24	8.25	17	8.25	10	8.25	ರು
			8.25	25	8.25	18	8.25	11	8.25	4
			8.25	26	8.25	19	8.25	12	8.25	ຍາ
			8.25	27		20	8.25	13	8.25	6
				28		21		14		7
173.95	16.50		41.25		33.00		41.25		41.25	

出鋤目 21 休日 9

14

8.25 8.25 8.25

8.25 8.25 8.25 16 8.25

8.25 8.25 8.25 8.25 17 8.25 8.25

8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

5 8.25 12 8.25 8.25 8.25 8.25

13

41.25 41.25

20 8.25 27

33.00 41.25

22 8.25 29 8.25

30 8.25

16.50 173.25

9.H

				96.50hr	0~18:00	8.25hr	123日	242日	
秋分の日	敬老の日	НФЩ	海の田	摄磐休日	こともの日	みとりの日	療法記念日	昭和の日	※祝日
9/23	9/15	8/11	7/21	5/6	5/5	5/4	5/3	4/29	
かりの	天皇誕生日	建国記念の日	成人の日	市	版替休日 ※	動労感謝の日	文化の日	スポーツの日	
3/20	2/23	2/11	1/12	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	11794	41/23	11/3	10/13	

w

黎伽時間
1996.50hr

出動目 21 休日 9

| H | H | ½K | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2.55 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.25 | 8.

 X
 A
 A
 L

 3
 4
 5

 5
 8.25
 8.25

 5
 8.25
 8.25

 5
 8.25
 8.25

 6
 17
 18
 19

 5
 8.25
 8.25
 26

 8
 24
 25
 26

7 8.25 14 8.25 8.25 21 21 8.25 8.25

4月

株式アイーエム・アックス

173.25	16.50		41.25		41.25		41.25		33.00		
							林日 7	出動日 24		10月	
		26		19		12		ຍາ			п
	8.25	27	8.25	20		13	8.25	6	- 17		Я
	8.25	28	8.25	21	8.25	14	8.25	7			×
	8.25	29	8.25	22	8.25	15	8.25	00	8.25	_	×
	8.25	30	8.25	23	8.25	16	8.25	9	8.25	2	×
	8.25	31	8.25	24	8.25	17	8.25	10	8.25	ಀ	班
			8.25	25	8.25	18		11		4	Н
198.00	41.25		49.50		41.25		41.25		24.75		

						休日	日曜田		11月									田粉	5 日頓田		FOI
		1000				11	19	_	_	\dashv		_				_		7	24	_	
30		23		16		9		2					26		19		12		ហ		
		24	8.25	17	8.25	10		မ				8.25	27	8.25	20		13	8.25	6		
	8.25	25	8.25	18	8.25	11	8.25	4				8.25	28	8.25	21	8.25	14	8.25	7		
	8.25	26	8.25	19	8.25	12	8.25	ហ				8.25	29	8.25	22	8.25	15	8.25	00	8.25	-
	8.25	27	8.25	20	8.25	13	8.25	6				8.25	30	8.25	23	8.25	16	8.25	9	8.25	N
	8.25	28	8.25	21	8.25	14	8.25	7				8.25	31	8.25	24	8.25	17	8.25	10	8.25	c
		29	8.25	22		15		00		_				8.25	25	8.25	18		Π		4
}	33.00		49.50		41.25		33.00		0.00		198.00	41.25		49.50		41.25		41.25		24.75	

								休日	出動日 19		11月	
				_				11	19			
		30	4	93		16		9		2		
-			4	24	8.25	17	8.25	10		ယ		
2			8.25	95	8.25	18	8.25	11	8.25	4		
င			8.25	9.6	8.25	19	8.25	12	8.25	51		
4			8.25	97	8.25	20	8.25	13	8.25	6		
ອາ			8.25	28	8.25	21	8.25	14	8.25	7		
6			į	29	8.25	22		15		00		_
100	156.75	0.00	33.00		49.50		41.25		33.00		0.00	

出動日 20 休日 11 11

25 18

31 24

41.25

165.00

12 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

13 8.25 20 8.25 8.25 8.25

7 8.25 14 8.25 21 8.25 28 8.25

8.25 8 8.25 15 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

8.25 8.25 8.25 8.25 16 8.25 23 8.25 8.25

41.25

17

24.75 16.50

10

5月

					休日	日午田		12月	
					11	20		-111	
	28		21		14		7		
	29	8.25	22	8.25	15	8.25	8	8.25	<u>_</u>
	30	8.25	23	8.25	16	8.25	9	8.25	2
	31	8.25	24	8.25	17	8.25	10	8.25	లు
		8.25	25	8.25	18	8.25	11	8.25	A
		8.25	26	8.25	19	8.25	12	8.25	ຍາ
			27		20		13		6
165.00	0.00	41.25		41.25		41.25		41.25	

出動目 21 休日 9 15

8.25 10 8.25 17 17 8.25 8.25 8.25

8.25 11 8.25 8.25 18 8.25 8.25 8.25

8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

6 8.25 13 8.25 20 8.25 27

41.25

22

28 21 14

41.25

41.25 41.25

8.25 173.25

33.00

8.25 9 8.25 16 8.25 23 8.25 8.25

29

H3

8.25 8.25 8.25	28 29	8.25 8.25 8.25	20 21 22	8.25 8.25	11 12 13 14 15 16	8.25 8.25 8.25	6 7 8	-
	31		24		17		10	е

出助日 22 休日 9

13

7 8.25 14 8.25 21

8.25 8 8.25 115 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

8.25 8.25 8.25 16 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

3 8.25 10 8.25 17 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

26 19 12 Ü

33,00 33.00 41.25 41.25

8.25 11 8.25 8.25 8.25 8.25

20

7月

	90	27	20	200	10	20	20		
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25			
	21	20	19	18	17	16	15	10	休日
33.00		8.25	8.25		8.25	8.25		18	出勋日 18
	14	13	12	11	10	9	00	L	
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25			2月
	7	6	ຍາ	4	ಲ	2	_		

			Ш	田		2月	
			10	18		_	
	22		15		00		_
	23	8.25	16	8.25	9	8.25	2
8.25	24	8.25	17	8.25	10	8.25	బ
8.25	25	8.25	18		11	8.25	4
8.25	26	8.25	19	8.25	12	8.25	ຍາ
8.25	27	8.25	20	8.25	13	8.25	6
	28		21		14		7
33.00		41.25		33.00		41.25	
	8.25 8.25 8.25	23 24 25 26 27 8.25 8.25 8.25 8.25	8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 23 24 25 26 27 28 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25	10 15 16 17 18 19 20 21	18 8.25 8.	Nation N	

出助日 17 休日 14

10

8.25 11

8.25

6 8.25

7 8.25

16

41.25

8.25 8 8.25 8.25

9

8.25

8Д

ಬ

25	0	2	0 00	1	0			
27		26	25	24	23	22		
		8.25	8.25	8.25	8.25			
20		19	18	17	16	15	10	休日
25	00	8.25	8.25	8.25	8.25		21	田郷田
13		12	11	10	9	00		
25	œ	8.25	8.25	8.25	8.25		0.000.00	3 H
9		57	4	ಀ	2	<u>-</u>		

出聯目 20 休日 10

14

22 8.25 29 8.25

9月

7

8.25 8 8.25

8.25 9 8.25 8.25 16 8.25 23

8.25 10 8.25 8.25 17 8.25 24 8.25

8.25 8.25 11 8.25 18 8.25 25 8.25

5 8.25 12 8.25 8.25 8.25 8.25

41.25

41.25

27 20 13

33.00

33.00

165.00

29 30 31 8.25 8.25

1996.50

16.50 173.25

31 24 17

0.00

18 8.25 25 8.25

19 8.25 **26** 8.25

20 8.25 27 8.25

21 8.25 28 8.25

22 8.25 29 8.25

41.25

23 8.25

49.50 0.00

黎鄉時間	エロシガルを呼回	1日の房の展画	休日数	黎側日数
1996.50hr	8:30~18:00	8.25hr	123H	242日

スポーツの日 10/13 文化の日 11/23 動労感謝の日 11/23 頻整休日 11/2 元日 11/2 成人の日 1/12 建国記念の日 2/11 天皇献生日 2/23 奉分の日 3/20					振磐休日 5/6			ш	昭和の日 4/29	※祝日	
	単の日本	天皇誕生日	建国記念の日	成人の甲	元日	振替休日	野労感難の日	文化の日	スポーツの日		
	3/20	2/23	2/11	1/12	1,	-	N .	11/3	10/13		

出動日 21 休日 9

6

ル 1 7.25 8 8 7.25 7.25 7.25 7.25 22 22 29

水 2 7.25 9 7.25 16 7.25 23 7.25 30 7.25

4月

ш

7
-
3
6
N
7
3

禁式ティーエム・デックス

	5	51 W	5	5	0.	1
		24 7.25	17 7.25	10 7.25	7.25	*
		7.25	18 7.25	11 7.25	7.25	金
		26	19	12	ວ	+
152.25	14.50	36.25	36.25	36.25	29.00	
	12222	J		4.6		
				ын 22 н 9	H01	
	26	19	12			П
	7.25	7.25	13	7.25		Я
	7.25	7.25	7.25	7.25		×
	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	×
	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	K
	8.25	8.25	8.25	8.25	7,25	金
		25	18		4	+
163.50	37.25	37.25	30.00	37.25	21.75	
1	1		1	1		1

3 10 9.25 17 9.25 24

出動日 20 休日 11

=

25

17 24 31

41.25 41.25 165.00

18

12 8.25 19 8.25 26 8.25

13 8.25 20 8.25 8.25 27 8.25

7 8.25 14 8.25 8.25 21 8.25 28

8.25 8 8.25 15 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

2 8.25 9 8.25 16 8.25 23 8.25 8.25

41.25

10

16.50 24.75

ಲ

5**月**

13 20 27

7 7.25 14 7.25 21 7.25 28 7.25

165.0	0.1								
0.00				31	30	29	28		
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25			
	27	26	25	24	23	22	21		
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25			
	20	19	18	17	16	15	14	11	保田
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25		20	日仰日
	13	12	11	10	9	00	7	L,	
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25		_	12月
	6:	en.	4	ဆ	2	_			

出動日 21 休日 9 15

3 8.25 10 8.25 17 17 8.25 8.25 8.25

4 8.25 11 8.25 18 8.25 8.25 8.25

5 8.25 12 8.25 8.25 8.25 8.25

8.25 13 8.25 8.25 20 8.25 8.25

41.25

14 21 28

41.25

8.25 173.25

2 8.25 9 9 8.25 16 8.25 23 8.25 8.25

6**月**

00

156,75									
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25			
	31	30	29	28	27	26	25		
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25			
	24	23	22	21	20	19	18		
33.00		8.25	8.25	8.25	8.25			_	
	17	16	15	14	13	12	11	12	休日
41.25		8.25	8.25	8.25	8.25	8.25		19	田伽田
	10	9	00	7	6	51	4	L	
0.00		1	,						1月
	ಬ	2	_						

出節日 23 休日 8

7 8.25 14 8.25 21

8.25 8 8.25 15 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

2 8.25 9 8.25 16 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

3 8.25 10 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25 8.25

> 19 8.25 **26**

4 8.25 11 8.25 18 8.25 8.25

12

33.00

6 13 20

28 8.25

33.00

41.25 49.50 33.00 7月

					日御田		2月	
				10	18	L		
		22		15		8		_
		23	8.25	16	8.25	9	8.25	2
	8.25	24	8.25	17	8.25	10	8.25	లు
	8.25	25	8.25	18		11	8.25	4
	8.25	26	8.25	19	8.25	12	8.25	21
	8.25	27	8.25	20	8.25	13	8.25	6
		28		21		14		7
148.50	33.00		41.25		33.00		41.25	

出勤日 17 休日 14

10

8.25 11

5 8.25

6 8.25

7 8.25

9 8.25 16

8.25 8.25 8.25

17 18 8.25 24 25 8.25

19 8.25 **26** 8.25

20 8.25 27 8.25

21 8.25 28 8.25

22 8.25 29 8.25

> 8.25 49.50 0.00

23

41.25

0.00

8Д

ಬ

						朱田	日韓田		3.H	
			_			10	21			8
		29		22		15		00		_
	8.25	30	8.25	23	8.25	16	8.25	9	8.25	2
	8.25	31	8.25	24	8.25	17	8.25	10	8.25	ಜ
			8.25	25	8.25	18	8.25	11	8.25	4
			8.25	26	8.25	19	8.25	12	8.25	O1
			8.25	27		20	8.25	13	8.25	6
				28		21		14		7
173.25	16.50		41.25		33.00		41.25		41.25	

出節目 21 休日 9

14

9.25 9.25 9.25 16 16 23

3 9.25 10 9.25 17 9.25 24 9.25

9.25 9.25 11 9.25 18 9.25 25 9.25

9.25 9.25 9.25 9.25 9.25 9.25

46.25

23

46.25

20 9.25 27

46.25

9.25 8 9.25

28

30 9.25

18.50

37.00

22 9.25 29 9.25 9 **H**

19	ı
96.	1
50	١
1	ı
	ŧ

黎働時間	1日の所定時間	休日数	黎卿日数
1996.50hr	8.25hr 8:30~18:00	123日	242日

	秋分の日	数老の日	田の山	海の田	擬替休日	こともの日	みどりの日	憲法記念日	昭和の日	※挽日
	9/23	9/15	8/11	7/21	5/6	5/5	5/4	5/3	4/29	
	帯分の日	天皇誕生日	建国記念の日	成人の日	元目	振替休日	動劣感謝の日	文化の日	スポーツの日	
	3/20	2/23	2/11	W12	XXX	24 93	13	11/3	10/13	
						超明庙	華井神			
1		T-730	The second second	7	1 M	理				

時間外労働 休日労働 に関する協定届

労働保険番号	2 5 1 0 0 9 5 5 8 0 0 0 0 都道府県 所幣 管轄 基幹番号 枚番号 被番号 被一括事業場番号
法人番号	2 1 3 0 0 0 1 0 3 2 6 5 5

様式第9号の2 (第16条第1項関係)

	事業の種類			事業の名称			事業の	の所在地(電話	番号)		協定の有	T効期間
	労働者派遣事業			エム・テックス R&G スタップ 利高工業株式会社滋賀工場		(〒 520 - 滋賀県大津市)	- 2144) 大萱 1 丁目 17-5 2		電話番号:077-		2025年4月1日	から1年間
									延長することが	できる時間数		
		時間外労債 必要のある		業務の種類	労働者数 (満 18 歳 以上の者)	所定労働時間 (1日) (任意)	1 法定労働時間を 超える時間数		1箇月 (①についで、②については 法定労働時間を 超える時間数	42 時間まで)		320 時間まで)
								(177,00)		(Jan 1777)		
時間外労働	① 下記②に該当しない労働者											
		生産	対応	生産・製造・生産管理	3 名	8.25 時間	4 時間		42 時間		320 時間	
	② 1年単位の変形労働時間制 により労働する労働者											
休口	休日労働をさせ	る必要のある具体的	事由	業務の種類	労働者数 (満 18 歳 以上の者)		所定休日 (任意)		労働させるこ 法 定 休 E		労働させること 休日における始業	
日 労 働		生産対応		生産・製造・生産管理	3名	派遣	先カレンダーに*	単ずる	1 カ月1	こ2月	8:30~	-18:00
												,

上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働及び休日労働を合算した時間数は、1箇月について 100 時間未満でなければならず、かつ2箇月から6箇月までを平均して80 時間を超過しないこと。 (チェックボックスに要チェック)



様式第9号の2 (第16条第1項関係)

				日		1 笸				1年 (時間外労働のみの時間数。 720時間以内に限る。)		
			(任意)		(時間外労働及	とび休日労働を合算し	た時間数。100 時間オ	に限る。)	起算日 (年月日)	2025年4	月1日	
臨時的に限度時間を超えて労働させることができる場合	業務の種類	労働者数	延長すること	ができる時間数		及び休日労	ができる時間数 働 の 時 間 数		延長することが	ぶできる時間数		
		以上の者	法定労働時間を 超える時間数			法定労働時間を超 える時間数と休日 労働の時間数を合				所定労働時間を 超える時間数 (任意)	限度時間を起 えた労働に係 る割増賃金率	
派遣先決算月増産対応	生産・製造・生産 管理	3名	8 時間		6 回	80 時間		25% (月間 60 時間を超 えた場合は 50%)			25%	
							1					
									級労働基	準監察		
								/X		1/4/1		
							i !		- 7, 3,	31		
							1	/A				
限度時間を超えて労働させる場合における手続	労働者代表への通知	П			1				可规能	第	•	
限度時間を超えて労働させる労働者に対する健康及び 福祉を確保するための措置	(該当する番号) ⑨	(具体的内容 必要に応じ		る助言・指導を受	け、又は労働	者に産業医等に。	よる保険指導を登	受けさせる				
上記で定める時間数にかかわらず、時間外労働	<u></u> 動及び休日労働を合う	草した時間数	対は、1箇月につ	いて 100 時間未清	あでなければな	らず、かつ2箇	月から6箇月ま	でを平均して	て80 時間を超過 (チェック	しないこと。 [<u></u> ウボックスに要	チェック)	

協定の成立年月日	2025 年	3 月	24 日			生态管理
協定の当事者である労働組合	(事業場の労働	者の過半数で	で組織する労働組合)	の名称又は労働者の過半数を代表する者の	職名 氏名	生產 勞致 労働者代表 福島 真佐道
協定の当事者(労働者の過半	数を代表する者の	の場合)の遺	選出方法 (信任投票による選出)	

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第 41 条第 2 号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。 (チェックボックスに要チェック)

2025年 3月 24日

使用者

職名 代表取締役 氏名 松岡 敬太

大津 労働基準監督署長殿

1年単位の変形労働時間制に関する協定届

				The state of the s				4 . 1 . 4 1		00,0,0	-							
事業の種類	事	業	の	名	称	事	業	の	所	在	地	(電	話	番	号)	常時 者数	使用する	る労働
労働者派遣事業	(杜)元-	エム・テング	7ス RQG	えなり, うなくれ)	事業却	滋賀	具だ津	市大萱	170	17-5	- 本細	第20	5°1637	= > 17 -	543-117	0	36	0 人
該 当 労 働 者 数 (満18歳未満の者)	対 象	期間起	算	特定日	期 間)			の各日 びに所			(a) (a) (b)	象期間 寺間数	中の	1 週間	の平均労	協定	の有象	助期 間
3 人(6 人)			- 2626		E .			(別紙)				38	時間	間	17 分	8	25年451年18	
労働時間が最も長い日 労]の 数 者)	1 2	間 /5	分 分)	労	き間が最 働 時 8 歳 未	情間				時間 時間	}o 分 分			期間中の 働日数		243	2 目
労働時間が48時間を起 連続週数	3える週の	D最長				1	週	対象期	間中の	の最も	長いi	車続労	働日数	数			6	日間
対象期間中の労働時間 える週数	引が48時間	引を超				3	週	特定期	間中の	の最も	長いi	車続労	働日数	数				日間
		T						(n 14 44	D 377	#L n+ pp	18 🖯	1 F).		24				
旧協定の対	象其	目間	202	14年4	+ALIET	15/4		旧協定 働時間		期時間	か最	り入り	日の気	万		8	時間	/ 5分

旧	協	定	の	対	象	期	間	2024年4	月日から日間	旧協定の労働時間が最も長い日の労 働時間数	8	時間 /5%
	協定の 時間数		時間	が最	も長	い週	の労	49	時間 36分	旧協定の対象期間中の総労働日数		242 1

協定の成立年月日 2025 年 3月 24日

上記協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は上記協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること。 🔽 (チェックボックスに要チェック)

上記労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であって使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。 (チェックボックスに要チェック)

2025 年 3月24日

- 7, 3,

使用者 職名 代表取 特役 氏名 松周 切太

大

労働基準監督署長殿

記載心得

- 1 労働基準法第60条第3項第2号の規定に基づき満18歳未満の者に変形労働時間制を適用する場合には、「該当労働者数」、「労働時間が最も長い日の労働時間数」及び「労働時間が最も長い週の労働時間数」の各欄に括弧書きすること。
- 2 「対象期間及び特定期間」の欄のうち、対象期間については当該変形労働時間制における時間通算の期間の単位を記入し、その起算日を括弧書きすること。
- 3 「対象期間中の各日及び各週の労働時間並びに所定休日」については、別紙に記載して添付すること。
- 4 「旧協定」とは、労働基準法施行規則第12条の4第3項に規定するものであること。
- 5 協定については、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合はその労働組合と、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合は労働者の過半数を代表する者と協定すること。なお、労働者の過半数を代表する者は、労働基準法施行規則第6条の2第1項の規定により、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であつて、使用者の意向に基づき選出されたものでないこと。これらの要件を満たさない場合には、有効な協定とはならないことに留意すること。また、これらの要件を満たしていても、当該要件に係るチェックボックスにチェックがない場合には、届出の形式上の要件に適合していないことに留意すること。
- 6 本様式をもつて協定とする場合においても、協定の当事者たる労使双方の合意があることが、協定上明らかとなるような方法により締結するよう留意すること。